

Sport in Life 推進プロジェクト
スポーツに関する情報提供の仕組みづくり事業
事業成果報告書

令和3年3月

目次

1	本事業の背景、及び目的	4
1.1	本事業の背景	4
1.2	本事業の目的	5
1.3	本事業の概要	5
2	「ココスポ」について	7
2.1	「ココスポ」の概要	7
2.2	「ココスポ」の機能	8
2.2.1	管理者アカウントの作成機能	8
2.2.2	情報登録機能の整備：各種項目の共通事項	9
2.2.3	情報登録機能の整備：大会やイベント、及び総合型地域スポーツクラブ	10
2.2.4	情報登録機能の整備：スポーツ施設とスポーツ教室	12
2.2.5	情報登録機能の整備：トピックス欄	17
2.2.6	広告の配信機能	18
2.2.7	安心・安全にスポーツを実施するための情報の掲載	19
2.2.8	「myココスポ」アカウントの作成機能	20
3	「ココスポ」を活用した事業の成果	23
3.1	本章の構成について	23
3.2	情報登録機能の整備：大会やイベント、及び総合型地域スポーツクラブ	28
3.2.1	大会やイベントの情報収集と整備結果	28
3.2.2	総合型地域スポーツクラブの情報収集と整備結果	30
3.3	情報登録機能の整備：トピックス欄、及び広告枠の情報収集と整備結果	32
3.3.1	トピックス欄の情報収集と整備結果	32
3.3.2	広告の配信枠の情報収集と整備結果	33
3.4	その他の情報収集と整備結果	35
3.4.1	全国のスポーツ施設位置情報の掲載	35
3.4.2	安心・安全にスポーツを実施するための情報の掲載	35
3.5	「myココスポアカウント」の整備結果	37
3.6	認知度、及び有用性の周知広報施策	39
3.7	アクセスログの解析	40
3.8	さいたま市、横浜市体育協会等での実証事業	43
3.8.1	実証事業の概要	43
3.8.2	情報閲覧者とスポーツ施設のマッチング実証	43
3.8.3	情報閲覧者とスポーツ教室のマッチング実証	45
3.8.4	スポーツ施設、及びスポーツ教室の情報掲載に係る課題	47

3.9	Web アンケート：スポーツ実施行動への影響	49
3.9.1	Web アンケート調査の実施概要	49
3.9.2	Web アンケート調査の回答結果	49
3.10	「ココスポ」の課題や収益性に関する調査研究	55
3.10.1	ヒアリング調査の実施概要	55
3.10.2	ヒアリング調査の結果	56
4	本事業の取り纏め	59
4.1	今年度における課題	59
4.2	課題に対する取組み	63
4.3	「ココスポ」のあるべき姿	65

1 本事業の背景、及び目的

1.1 本事業の背景

第2期の「スポーツ基本計画」（平成29年3月、文部科学省）では、成人の週1回以上のスポーツ実施率を65%程度（障がい者は40%程度）とする目標を掲げている。一方で、スポーツ庁による「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（令和2年2月、スポーツ庁）では、成人の週1回以上のスポーツ実施率は53.6%となっている。スポーツ実施率の向上を実現するためには、国民の誰もが各々の年代や関心・適性等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会を創出し、国民におけるスポーツ実施を促していく必要がある。

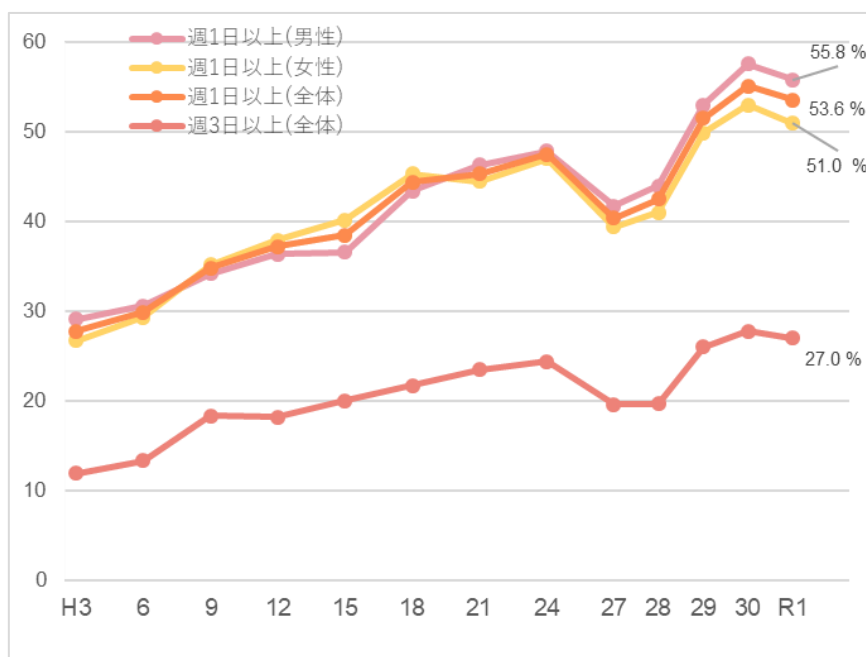


図. 成人の週1回以上のスポーツ実施状況

令和元年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」より PwC 作成

国民のスポーツ実施率の向上のためには、スポーツを実施しない阻害要因を明確化し、取り除く施策が必要となる。「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（令和2年2月、スポーツ庁）では、運動やスポーツの阻害要因として「仕事や家事が忙しいから」、「面倒くさいから」、「場所や施設がないから」、「仲間がないから」、「指導者がいないから」などが挙げられている。

表. スポーツ実施の阻害要因（上位7つまでを抜粋）

複数回答（n = 17,106）	全体	男性	女性
仕事や家事が忙しいから	43.7%	44.1%	43.3%
面倒くさいから	27.5%	24.7%	30.3%
年をとったから	24.6%	27.5%	21.8%
お金に余裕がないから	16.5%	15.8%	17.2%
特に理由はない	14.3%	14.7%	13.9%
子どもに手がかかるから	10.9%	8.6%	13.2%
運動・スポーツが嫌いだから	10.1%	6.0%	14.2%

令和元年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」を基にPwC作成

スポーツ庁ではこのような阻害要因を取り除くため、「スポーツを実施する場所」「スポーツを実施する仲間」、「スポーツの指導者」、「スポーツを実施する機会（大会、イベント等）」に係る情報を集約した情報ポータルサイト「ここスポ」を「スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・マッチング機能等によるスポーツ活動ワンストップ化促進事業」にて構築し、情報の集積を実施している。

1.2 本事業の目的

本事業は、成人の週1回以上のスポーツ実施率向上を推進するため、スポーツ実施に関する「大会・イベント」、「施設」、「仲間」、「教室」等の全国的な情報を集積することのできるWebサイトの機能拡充を実現する。また、Webサイトを用いた実証事業を実施し、Webサイトのスポーツ実執行動への影響を把握することにより、その有効性を把握する。

1.3 本事業の概要

本事業では、スポーツ実施に関する情報を網羅的に収集し、開示するWebサイトである「ここスポ」がより多くの情報を集積でき、利用者が簡易に情報を取得可能な状態とするため、機能拡充に向けた改修を実施するとともに、新たな機能を活用した各種スポーツ関連情報の収集、開示を推進する。

また、これらの取り組みがスポーツ実執行動にあたる影響を把握するため、さいたま市、横浜市における実証事業を展開する。

○「ここスポ」に係る機能整備

機能改修については、「ここスポ」の利用者である情報掲載者、及び情報閲覧者に向け、「マイページ機能の実装」や「Topics欄の実装」等を実施する。また、さいたま市、横浜市の実証地域におけるスポーツ施設、教室情報については、「空き情報の掲載機能」、「予約機能」についても整備を実施する。

○スポーツ大会・イベント・教室等に係る情報収集・開示

「スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・マッチング機能等によるスポーツ活動ワンストップ化促進事業」と同様に全国で開催されるスポーツ大会・イベント・教室等の情報収集・開示及び、スポーツ施設位置情報マップの掲載を実施する。

本事業においてはそれらに加え、「スポーツを実施する仲間の情報」として、総合型地域スポーツクラブを中心とする全国のスポーツサークルの情報、「安心・安全にスポーツを実施するための情報」としてスポーツ競技団体等のガイドライン等の情報を収集・開示する。

また、日常的にスポーツを実施することがない方に「ここスポ」へ興味を持っていただくため、「大会、イベント、教室」、「施設」、「サークル」等に関する情報だけでなく、スポーツに関連するあらゆる情報についても発信できる Topics 欄を開発し、当該機能を用いた情報の収集・開示を実施する。

○さいたま市、横浜市スポーツ協会での実証事業及び調査分析

さいたま市、及び横浜市スポーツ協会に協力いただくことにより、詳細なスポーツ施設、教室の情報を掲載するとともに、スポーツ施設、教室の空き情報掲載、予約機能をここスポに具備し、両団体にて実証事業として展開する。また、両団体の所在地域であるさいたま市、横浜市の在住、在勤、在学者を対象とした「ここスポ」に関するアンケート調査を実施することにより、スポーツ実施行動に関する調査分析を実施する。

2 「こコスポ」について

2.1 「こコスポ」の概要

昨年度の事業では、「こコスポ」の名称、ロゴ、Webサイトのデザインの選定、及びスポーツ関連情報の掲載機能等を開発し、2019年9月にWebサイトとして公開した。本事業では、昨年度に選定したデザイン等を引継ぎ、情報閲覧者や情報登録者の利便性の向上を念頭に置いた機能拡張を実施した。

現行の「こコスポ」のページ構成は、下表のとおりである。

表. 「こコスポ」のページ構成

ページの名称	ページの概要
「こコスポ」とは	「こコスポ」の概要文を掲載
全国のイベント	全国のイベントや大会の情報を掲載
全国のサークル	全国の総合型地域スポーツクラブの情報を掲載
さいたま市の施設一覧	さいたま市に所在するスポーツ施設の情報を掲載
さいたま市の教室一覧	さいたま市に所在するスポーツ教室の情報を掲載
横浜市の施設一覧	横浜市に所在するスポーツ施設の情報を掲載
横浜市の教室一覧	横浜市に所在するスポーツ教室の情報を掲載
全国のスポーツ施設位置情報	全国のスポーツ施設の位置情報を Google Map 上にて表示（トップページに掲載）
トピックス欄	トピックスに投稿された記事を掲載
スポーツ安全リスト	競技団体が発行しているガイドライン等の URL を掲載
情報閲覧者向け：新規登録	「my こコスポ」アカウントの新規登録画面
情報閲覧者向け：ログイン	「my こコスポ」アカウントのログイン画面
情報登録者向け：新規登録	情報登録者アカウントの新規登録画面
情報登録者向け：ログイン	情報登録者アカウントのログイン画面
よくある質問	「こコスポ」の利用方法に関する FAQ ページ
利用規約・プライバシーポリシー	「こコスポ」の利用方法に関わる利用規約やプライバシーポリシーを掲載
サイトマップ	「こコスポ」のサイトマップを掲載
アクセシビリティ	「こコスポ」のアクセシビリティへの対応を掲載
利用環境	「こコスポ」の推奨される利用環境を掲載
重要なお知らせ	新型コロナウイルスの感染対策に係る URL を掲載
お問い合わせ	事務局の問い合わせ先を掲載

2.2 「ココスポ」の機能

本事業では、「ココスポ」が全国のスポーツ関連情報を集約した Web サイトとして機能するために、各種機能の改修を実施した。例えば、情報掲載に係る機能拡張に加えて、「ココスポ」の Web サイトとしての付加価値を高めるために、個人アカウント「my ココスポ」の作成機能等を新しく開発した。本章では、本事業の一環として実施した主な機能拡張について解説する。

本章にて解説する機能等は、下記のとおりである。

- 2.2.1 情報登録者アカウントの作成機能
- 2.2.2 情報登録機能の整備：各種項目の共通事項
- 2.2.3 情報登録機能の整備：大会やイベント、及び総合型地域スポーツクラブ
- 2.2.4 情報登録機能の整備：スポーツ施設とスポーツ教室
- 2.2.5 情報登録機能の整備：トピックス欄
- 2.2.6 広告の配信機能
- 2.2.7 安心・安全にスポーツを実施するための情報の掲載
- 2.2.8 「my ココスポ」アカウントの作成機能

2.2.1 管理者アカウントの作成機能

昨年度の事業では、スポーツ大会等の情報を登録できるアカウントを事務局にて発行し、当該アカウントをスポーツ関連団体等に配布していたが、今年度の事業からアカウント発行は各団体にて実施することが可能となった。情報登録者用アカウントのログインページにアクセスし、仮登録用のメールアドレスを登録することによって、アカウント発行の手続きを開始できる。仮登録が完了した後は、本登録画面にて団体名や団体の住所等を登録することによって、アカウント発行が完了する。

図. 管理者用アカウントの仮登録画面

各種情報登録者用アカウントの権限、及び発行方法は下表のとおりである。スポーツ施設

やスポーツ教室の情報掲載機能を備えている実証用アカウントや、トピックス欄の記事を投稿できるトピックス用アカウントは、事務局でのみ発行できる。

なお、総合型地域スポーツクラブの情報掲載機能が今年度から全国に拡大されたことを受け、各団体による発行が可能であるアカウントは、スポーツ大会に加えて、総合型地域スポーツクラブの情報を掲載できる仕様になっている。総合型地域スポーツクラブの情報掲載機能の詳細については、「2.2.3 情報登録機能の整備：大会やイベント、及び総合型地域スポーツクラブ」にて詳述する。

表. 情報登録者用アカウントの権限設定、及び発行方法

アカウント区分	掲載情報の権限	発行方法
大会・サークル用アカウント	- スポーツ大会やイベント - 総合型地域スポーツクラブ	団体が発行
実証用アカウント	- スポーツ施設 - スポーツ教室	事務局が発行
トピックス用アカウント	- トピックス * 希望する団体には、大会やイベントの投稿権限を付与	事務局が発行

2.2.2 情報登録機能の整備：各種項目の共通事項

全ての情報登録者用アカウントに該当する共通の改修事項として、競技タグの整備について解説する。「ここスポ」に掲載される情報にはタグを付与することが可能であり、昨年度までは12種類の競技に基づいたタグを付けることが可能であった。今年度の事業では、多岐に渡る競技に対応するために競技タグを整理し、タグを28種目に細分化した。また、細分化された競技タグは、各種一覧ページにて利用できる絞り込み検索機能の検索項目に反映されている。整理された競技タグのリストは、下表のとおりである。

表. 競技タグの一覧

競技リスト	
陸上競技	野球・ソフトボール
ウォーキング	テニス・バドミントン・卓球
ダンス・チアリーディング	ゴルフ
体操・ヨガ・トレーニング	バレーボール
武道・格闘技	バスケットボール
水中競技	ドッジボール・ハンドボール
冬季スポーツ(氷上競技)	ラグビー・アメリカンフットボール
アウトドア	グラウンドホッケー・ラクロス
障がい者スポーツ	ボウリング
超人スポーツ	ゲートボール
レクリエーションスポーツ	自転車・サイクリング
ゆるスポーツ	アーチェリー・弓道・射撃
乗馬	ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング
サッカー・フットサル	その他

2.2.3 情報登録機能の整備：大会やイベント、及び総合型地域スポーツクラブ

○大会やイベントの情報項目について

今年度具備された新規機能として、位置情報を地図上にて表示することが可能となった。情報登録者アカウントの投稿画面にて、イベント等の開催場所となる住所を入力することによって、地図（Google Map）がイベントの詳細ページに出現し、記入した住所に赤いピンが表示される仕様である。

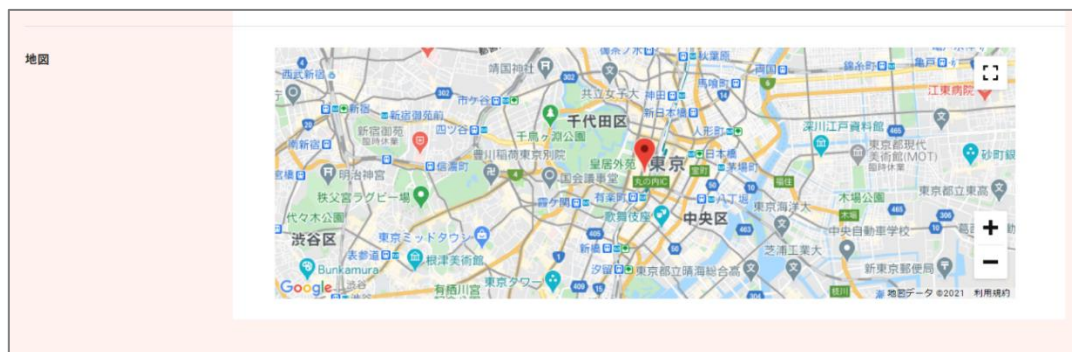


図. 位置情報（Google Map）の掲載イメージ

また、これまでの「こコスポ」ではイベントの公式ホームページ等の URL の記入欄が具備されていたが、今年度からは予約関連の Web サイトの URL を記入できる欄を別途設置した。

現行の「こコスポ」において、全国のスポーツ大会やスポーツイベントに関して掲載できる情報は以下のとおりである。今年度の事業にて新しく追加した項目については、オレンジ色でハイライトしている。

表. スポーツ大会やスポーツイベントに関する情報項目

項目	概要	記入方式	例
イベント名	イベントの名称	自由記述	第 4 回 XX 大会
イベント名_カナ	イベントの名称 (カナ)	自由記述	ダイヨンカイ XX タイカイ
画像ファイル	サムネイル画像をアップロード	ファイルのアップロード	
競技アイコン	サムネイル画像を選択	選択式	
開始日	イベント期間の開始日	自由記述	2021 年 02 月 13 日 (土)
終了日	イベント期間の終了日	自由記述	2021 年 02 月 19 日 (金)
開始時刻	イベントの開始時刻	自由記述	09:00
終了時刻	イベントの終了時刻	自由記述	15:00
日程特記事項	日程に関する詳細説明や備考	自由記述	8 月 18 日は休養日
大会、イベントに関するメッセージ (20 文字以内)	イベント主催者が発信するメッセージ	自由記述	目指せ優勝!
イベント詳細説明文 (400 文字以内)	イベントに関する詳細の説明文	自由記述	イベントは～

バリアフリー	イベント開催施設のバリアフリー設置状況	選択式	優先駐車場有り、多目的トイレ有り、スロープ有り、等
バリアフリー追加項目	バリアフリー設置状況に関する追加情報	自由記述	わからないことがあればお気軽にご相談ください
定員数	イベントの定員数	自由記述	200
参加資格（条件）	イベント参加に必要な資格や条件	自由記述	港区在住者のみ参加可能
持ち物	イベント参加に必要な持ち物	自由記述	ヘルメット
参加料金	イベント参加料の有無	有料または無料を選択	有料
参加料金特記事項	料金に関する詳細説明や備考	自由記述	港区民 18 歳以下無料、その他 ¥1,000
決済方法	決済方法	申込サイトに準ずる、クレジットカード決済、銀行振、コンビニ決済、現金から選択	
予約の必要性	予約の必要有無	選択式	
予約方法	予約方法の説明	自由記述	Web サイトから登録
申込終了日時	申込が必要な場合の期限	自由記述	2021 年 02 月 01 日（月）
駐車場（台数）	イベント開催場所の駐車場情報	自由記述	100
イベント主催者名称	イベント主催者（団体など）の名称	自由記述	ココスポ協会
公式サイト URL	イベントのサイト URL またはイベント主催者のサイト URL	自由記述	cocospo. go. jp
その他特記事項	イベントに関する注意事項など	自由記述	申込後のキャンセル不可
開催場所①都道府県	開催場所の都道府県	選択式	東京都
開催場所②市区町村	開催場所の市区町村	選択式	港区
開催場所③町丁目	開催場所の町丁目	自由記述	ココスポ町 1-1-1
開催場所④建物名	開催場所の建物名	自由記述	ココスポビル
開催場所⑤階数	開催場所の建物内における階数	自由記述	3 階～8 階
開催場所⑥開催地名称	開催地名称（建物名と同じ場合も記載）	自由記述	ココスポセンター
開催場所⑦交通アクセス	イベント開催場所までのアクセス	自由記述	JR 田町駅徒歩 5 分
Google Map	緯度経度に基づいて、開催場所を Google Map 上で表示。	自由記述	cocospo. go. jp
電話番号	イベントの電話番号	自由記述	080-XXXX-XXXX
予約サイト URL	イベントの予約サイト URL	自由記述	cocospo. go. jp/yoyaku

○総合型地域スポーツクラブの情報項目について

昨年度までの「ココスポ」では、総合型地域スポーツクラブの情報の掲載権限をさいたま市に所在する団体にのみ付与されていたが、本事業では掲載権限の対象を全国の団体に拡大している。そのため、権限の範囲を変更するにあたって、総合型地域スポーツクラブの情

報項目として新しく「都道府県」と「市区町村」を追加している。また、スポーツ大会やスポーツイベントと同様、位置情報を入力し、詳細ページにて位置情報（Google Map）を表示することや、予約に係る Web サイトの URL の入力ができる。

現行の「ココスポ」にて総合型地域スポーツクラブに関して掲載できる情報は、以下のとおりである。今年度の事業にて新しく追加した項目については、オレンジ色でハイライトしている。

表. 総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団に関する情報項目

項目	概要	記入方式	例
都道府県	サークルの都道府県	選択式	東京都
市区町村	サークルの市区町村	選択式	港区
サークル名	サークルの名称	自由記述	ココスポ卓球グループ
画像ファイル	サムネイル画像をアップロード	ファイルのアップロード	
競技アイコン	サムネイル画像を選択	選択式	
概要	サークルの概要	自由記述	普段運動をしていない方でも歓迎です。
活動場所	サークルの活動場所	自由記述	港区広場
料金	サークルの活動に参加するための料金	自由記述	参加費 1 回 1500 円
公式サイト URL	サークルのサイト URL	自由記述	cocospo. go. jp
Google Map	緯度経度に基づいて、開催場所を Google Map 上で表示。	自由記述	
電話番号	サークルの電話番号	自由記述	080-XXXX-XXXX
予約サイト URL	サークルの予約サイト URL	自由記述	cocospo. go. jp/yoyaku

2.2.4 情報登録機能の整備：スポーツ施設とスポーツ教室

○スポーツ施設の情報項目について

前述しているとおり、スポーツ施設の情報項目として地図情報（Google Map）の登録、予約に係る Web サイトの入力欄が新しく追加されている。また、下表の情報項目の掲載に加えて、登録されたメールアドレスへの問い合わせが可能である予約機能、及び空き情報掲載機能を当該アカウントに具備している。予約機能、及び空き情報掲載機能の詳細については、本章にて後述する。

表. スポーツ施設に関する情報項目

項目	概要	記入方式	例
施設名	施設の名称	自由記述	ココスポ公園
施設名_カナ	施設の名称（カナ）	自由記述	ココスポコウエン
画像ファイル	サムネイル画像をアップロード	ファイルのアップロード	

概要	施設に関する概要	自由記述	今年開館しました。
施設競技	施設が取り扱っている対象競技	自由記述	サッカー、フットサル、バレーボール、等
屋内・屋外	屋内施設・屋外施設を選択	選択式	
都道府県/市	施設の都道府県/市	選択式	埼玉県さいたま市
区	施設の区	選択式	西区
町丁目	施設の町丁目	自由記述	三橋 A-B-C
建物名	施設の建物名	自由記述	埼玉ビル
階数	施設所在地の建物内における階数	自由記述	3階～5階
交通アクセス	施設までのアクセス	自由記述	JR浦和駅から徒歩1分
設備	施設が保有する施設	選択式	体育館/アリーナ、屋外競技場/グラウンド、サッカー場、等
設備特記事項	施設の設備に関する特記事項	自由記述	更衣室とシャワー有、シューズ貸出有り、等
設備ポップアップ	設備名、設備写真、設備協議、利用開始時間、利用終了時間、利用料金を記入	自由記述、及び選択式	
団体名	施設の管理団体の名称	自由記述	ここスポ協会
利用可能曜日	施設が利用可能な曜日	選択式	月曜日、火曜日
利用開始時間	施設の利用開始時間	自由記述	09:00
利用終了時間	施設の利用終了時間	自由記述	15:00
利用可能時間特記事項	利用時間に関する特記事項	自由記述	12月27日から1月3日まで休館します。
バリアフリー	施設のバリアフリー設置状況	選択式	優先駐車場有り、多目的トイレ有り、等
バリアフリー追加項目			
公式サイト URL	施設のサイト URL	自由記述	cocospo. go. jp
利用条件	施設の利用条件	自由記述	市内在住・在勤・在学者のみが利用可能
予約必要性	予約の必要有無	選択式	必要
予約方法	予約方法の説明	自由記述	ウェブサイトから登録
駐車場	施設の駐車場情報	自由記述	あり (50台まで)
備考	施設に関する特記事項	自由記述	毎週水曜日はイベントを開催しています。
Google Map	緯度経度に基づいて、開催場所を Google Map 上で表示。	自由記述	
電話番号	施設の電話番号	自由記述	080-XXXX-XXXX
予約サイト URL	施設の予約サイト URL	自由記述	cocospo. go. jp
予約機能	問い合わせの送信先メールアドレス	自由記述	test@cocospo. com
空き情報掲載情報	施設や設備の空き情報	その他	

○スポーツ教室の情報項目について

スポーツ施設の同様、今年度の事業は新しい情報項目として地図情報 (Google Map)、予約機能、空き情報掲載機能が具備されている。スポーツ教室の情報項目に関する詳細については、下表のとおりである。予約機能、及び空き情報掲載機能の詳細については、本章にて後述する。

表. スポーツ教室に関する情報項目

項目	概要	記入方式	例
教室名	教室の名称	自由記述	ココスポサッカー教室
教室名_カナ	教室の名称 (カナ)	自由記述	ココスポサッカーキョウシツ
画像ファイル	サムネイル画像をアップロード	ファイルのアップロード	
競技アイコン	サムネイル画像を選択	選択式	
概要	教室に関する概要	自由記述	初心者向けの教室です
活動地区	教室が所在する区	選択式	西区
開催場所	開催場所の名称	自由記述	ココスポフィールド
開始日	教室の開始日	自由記述	2021年03月17日 (水)
終了日	教室の終了日	自由記述	2021年10月20日 (水)
開始時刻	教室の開始時刻	自由記述	09:00
終了時刻	教室の終了時刻	自由記述	15:00
日時特記事項	開催日時に関する特記事項	自由記述	毎週水曜の9時から
定員数	教室の定員数	自由記述	10
参加費	教室の参加費	自由記述	一般300円(1回)、 小学生100円(1回)
申し込み方法	教室の申し込み方法	自由記述	電話とメール
申し込み期間開始日	申込の開始日	自由記述	2021年02月01日 (月)
申し込み期間終了日	申込の終了日	自由記述	2021年02月03日 (水)
公式 URL	教室のサイトの URL	自由記述	cocospo.go.jp
お問合せ先	お問合せ先の団体名	自由記述	ココスポスポーツ会
備考	教室に関する備考	自由記述	申込後のキャンセル不可
Google Map	緯度経度に基づいて、開催場所を Google Map 上で表示。	自由記述	
電話番号	教室の電話番号	自由記述	080-XXXX-XXXX
予約サイト URL	教室の予約サイト URL	自由記述	cocospo.go.jp
予約機能	問い合わせの送信先メールアドレス	自由記述	test@cocospo.com
空き情報掲載情報	教室の空き情報	その他	

○新規開発：予約機能について

本事業では、情報閲覧者が「ココスポ」に掲載されているスポーツ施設、及びスポーツ教室の詳細ページにて「お問い合わせフォームへ」を選択し、情報登録者により設定されたメールアドレスへ問い合わせ内容を送信できる機能を新しく開発している。なお、情報閲覧者は、個人アカウント「my ココスポ」にログインしている場合にのみ、予約機能を利用できる。

お問い合わせフォームはポップアップ画面として情報閲覧者の画面に表示され、「my ココスポ」アカウントに登録されている情報閲覧者の氏名、メールアドレス、住所がお問い合わせフォームに自動入力される。なお、スポーツ施設には複数の設備が備わっているケースが

多いため、情報閲覧者は問い合わせ先となる設備を「お問い合わせ先の設備」から選択することが可能である。

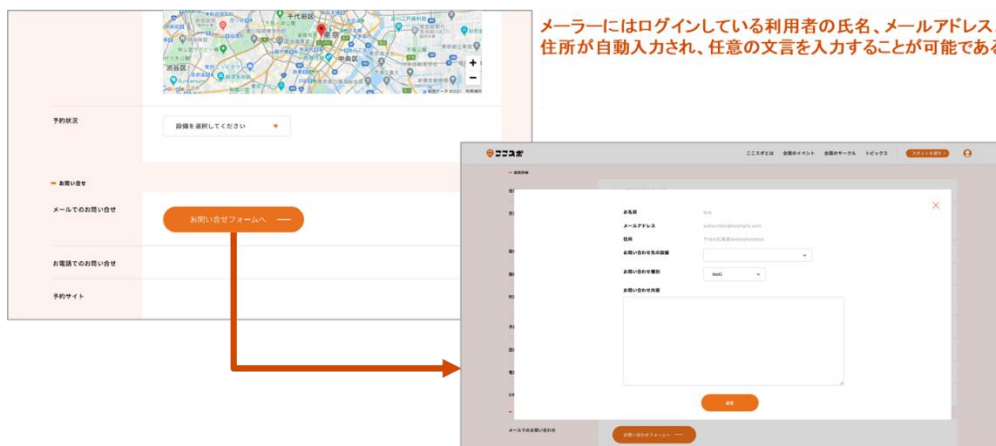


図. 予約機能の利用イメージ

また、情報閲覧者の個人情報等に加えて、お問い合わせフォームには情報登録者が投稿画面にて入力した「お問い合わせ種別」がプルダウンメニュー上で表示され、情報閲覧者は任意の項目を選択することが可能である。加えて、情報閲覧者は任意の文言をフォーム上に記入することが可能である。入力された情報は情報閲覧者が送信することによって、お問い合わせフォームに反映された全ての内容がメールとして情報登録者に送付される。



図. お問い合わせ種別の登録イメージ

○新規開発：空き情報掲載機能について

空き情報掲載機能は、情報登録者が設定した任意のラベルの凡例に基づき、それぞれの日時における空き状況を詳細ページに掲載することを可能とする機能である。また、情報掲載者はそれぞれの日付に対してフリーワードのコメントを設定することができる。設定され

た日付の上に情報閲覧者がカーソルを合わせることによって、フリーワードが吹き出しとして表示される仕様になっている。なお、施設は設備によって空き状況が異なることが想定されるため、設備毎の空き情報を施設の詳細ページに掲載することが可能である。



図. 空き情報掲載機能の利用イメージ

空き情報の掲載方法については、施設や教室の投稿ページではなく、カレンダー情報の専用画面にて必要となる情報を登録する。専用画面にて登録したカレンダーデータを既存の施設や教室の情報と紐づけることによって、登録されているカレンダーデータが詳細ページに表示される。

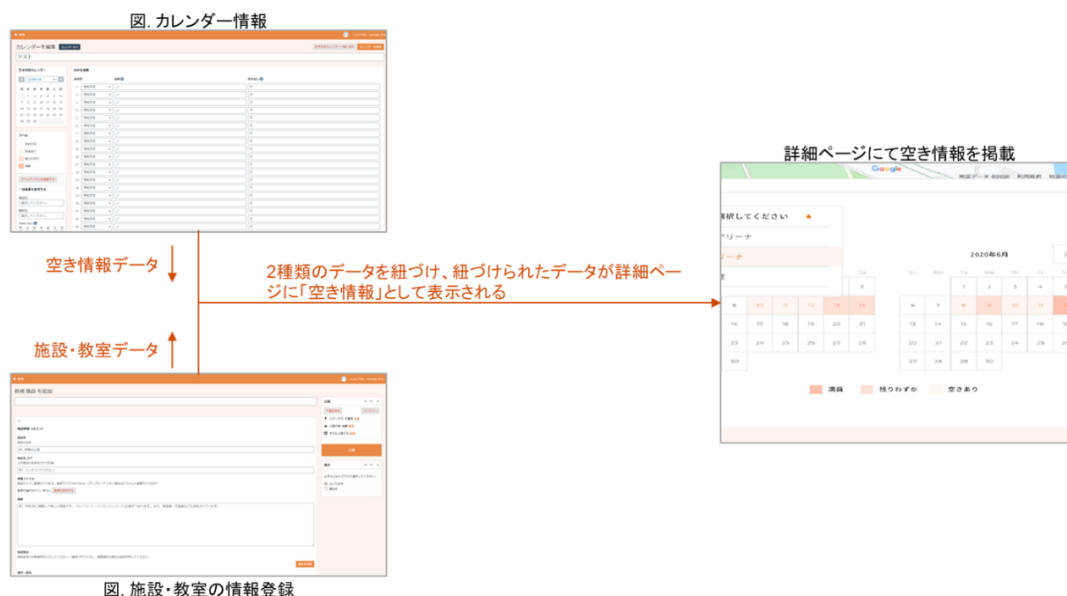


図. 空き情報の掲載方法のイメージ

2.2.5 情報登録機能の整備：トピックス欄

○トピックス欄の概要

本事業では、スポーツ関連情報を発信する枠として新しくトピックス欄を開発した。スポーツ関連団体がトピックス欄にスポーツ関連情報を掲載することによって、情報閲覧者はイベントや総合型地域スポーツクラブの詳細情報とは異なるコンテンツを閲覧することが可能となる。



図. トピックス欄に掲載された記事のイメージ

前述しているとおり、トピックス欄に情報を掲載するためのアカウントは、事務局でのみ発行できる。本事業では、トピックス欄の利用に関する案内を Sport in Life 加盟団体に周知し、アカウント発行の希望を加盟団体から承り次第、事務局にてアカウントを発行した。

○トピックス欄の情報項目について

現行の「ココスポ」にてトピックス欄に関して掲載できる情報は、以下のとおりである。当該機能は今年度の事業を通じて新しく実装された機能であるため、全ての項目が新規のものとなる。

表. トピックス欄に関する情報項目

項目	概要	記入方式	例
トピックス名	トピックスのタイトル	自由記述	新スタジアムオープンのお知らせ！
トピックスの本文	トピックスの本文（書式設定可）	自由記述	
メディアの追加	画像や動画を本文に挿入	ファイルのアップロード	
画像ファイル	サムネイル画像をアップロード	ファイルのアップロード	

競技アイコン	サムネイル画像を選択	選択式	
詳細 URL	トピックスと関連のある URL を記入	自由記述	cocospo. go. jp
都道府県	トピックスと関連のある都道府県を選択	選択式	東京都
投稿者名	トピックスの投稿者名を記入	自由記述	ここスポ太郎

2.2.6 広告の配信機能

本事業では、任意の URL や画像を「ここスポ」の広告の配信枠に掲載できる機能を開発した。設定された情報はトップページ、「my ここスポアカウント」のマイページ、トピックス一覧ページ、トピックス詳細ページに表示される仕様である。また、配信枠は4個用意されているが、掲載情報が4個以上ある場合は、それぞれの情報が情報閲覧者の画面にてランダムに表示される仕様である。

広告の配信枠の利用については、トピックス欄と同様、Sport in Life 加盟団体に周知した。配信枠の利用の希望している団体を確認次第、希望している団体に対してオンラインのアンケートフォームを共有し、配信枠に掲載する情報をフォームに記入していただくように依頼した。なお、配信枠に掲載する画像ファイルについては、メールにて事務局に共有していただく運用にした。必要となる情報が揃い次第、配信枠の掲載作業を事務局にて実施した。

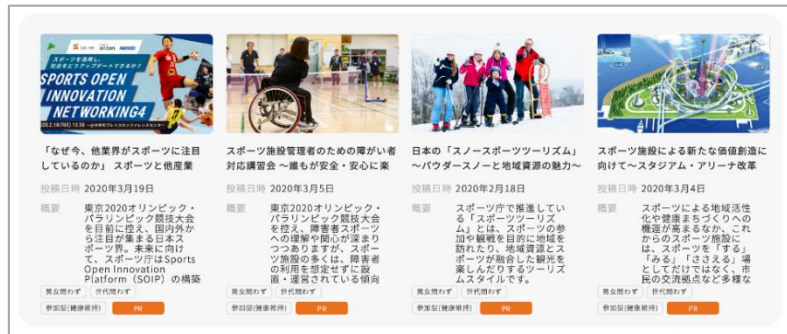


図. 広告の配信枠のイメージ

現行の「ここスポ」にて広告の配信枠に掲載できる情報は、以下のとおりである。なお、当該機能は今年度の事業を通じて新しく実装された機能であるため、全ての項目が新規のものとなる。

表. 広告の配信枠に関する情報項目

項目	概要	記入方式	例
広告の名称	広告のタイトル (40 文字未満)	自由記述	新スタジアムオープンのお知らせ!
広告の本文	広告の本文 (60 文字未満)	自由記述	

詳細 URL	広告に掲載する URL	自由記述	cocospo. go. jp
画像ファイル	サムネイル画像をアップロード	ファイルのアップロード	
競技アイコン	サムネイル画像を選択	選択式	
タグ	広告に付記するタグを4つまで選択	競技・種目、広告の配信枠の種類、対象年齢層、目的、参加形態	陸上競技、ウォーキング、施設、スポーツを観る

2.2.7 安心・安全にスポーツを実施するための情報の掲載

○「スポーツ安全リスト」ページの作成

「ココスポ」の情報閲覧者の中には、習慣的にスポーツと触れていないスポーツ未実施者も含まれていることが想定される。そのような情報閲覧者が安心、そして安全にスポーツを実施するために、スポーツ関連団体が発行しているスポーツ実施に係るガイドブックの URL リンクを収集し、本事業にて新しく作成された「スポーツ安全リスト」ページに掲載している。当該ページでは、それぞれのガイドラインを閲覧できる Web サイトの URL をリスト化している。

スポーツ実施に係るガイドラインの整備結果については、第4章の「安心・安全にスポーツを実施するための情報の掲載」にて詳述している。



図. 「スポーツ安全リスト」のデザイン

○「新型コロナウイルス感染対策」ページの作成

新型コロナウイルスの感染拡大の影響がスポーツ実施の環境にも及んでいることを踏まえて、新型コロナウイルスの感染対策に関連する情報を掲載しているページを作成した。当該ページは、「スポーツ安全リスト」と同様、関連情報が掲載されている Web サイトの URL をリスト化している。

新型コロナウイルスの感染対策に係る情報の整備結果については、第4章の「安心・安全

にスポーツを実施するための情報の掲載」にて詳述している。



図. 「新型コロナウイルスの感染対策」のデザイン

2.2.8 「my kokospo」アカウントの作成機能

○ 「my kokospo」アカウントの登録方法、及び機能

本事業では、「kokospo」における情報閲覧者の利便性を向上するために、様々な機能を具備した個人アカウント「my kokospo」の作成機能を開発した。当該アカウントは、アカウントの新規登録ページにて仮登録の手続きを進めることによって作成できる。なお、メールアドレスを活用した仮登録だけでなく、ソーシャルネットワーキングサービスとの連携による仮登録を実施することも可能である。

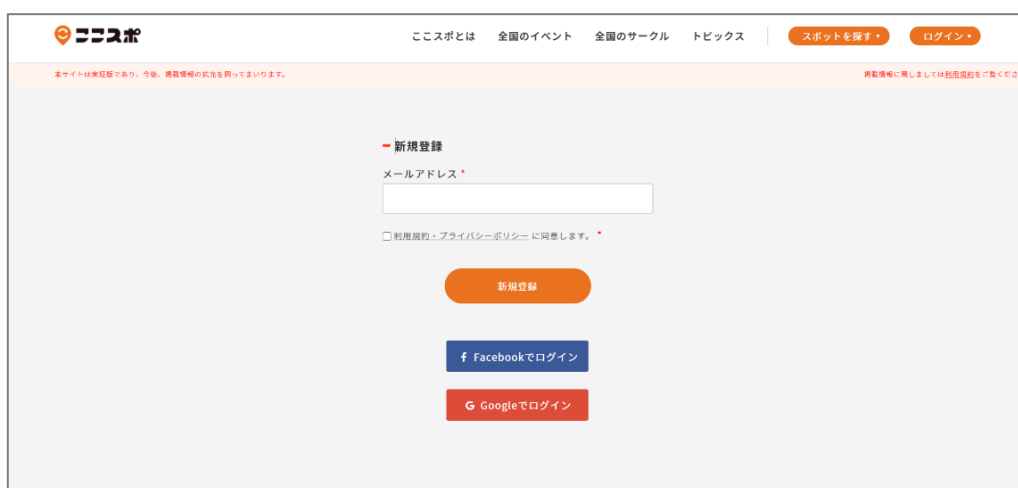


図. 「my kokospo」アカウントの新規登録ページ

仮登録を完了した後に必要項目を入力することによって、「my kokospo」アカウントの本登録が完了する。項目の詳細については、下表にて記載している。

表. 「my こコスポ」アカウントの登録情報

項目	概要	記入方式	例
氏名	登録者の氏名	自由記述	こコスポ 太郎
氏名_カナ	登録者の氏名 (カナ)	自由記述	ココスポ タロウ
電話番号	登録者の電話番号	自由記述	090-XXXX-XXXX
住所：郵便番号	登録者の住所	自由記述	111-XXXX
住所：都道府県	登録者の住所	自由記述	東京都
住所：市区町村	登録者の住所	自由記述	港区
住所：町名	登録者の住所	自由記述	こコスポ町
住所：丁目・番地	登録者の住所	自由記述	1-1-1
住所：ビル・マンション	登録者の住所	自由記述	こコスポビル
性別	登録者の性別	選択式	男性
生年月日	登録者の生年月日	自由記述	1990年1月1日
職業	登録者の職業	選択式	会社員
最近の運動実施頻度	登録者の運動実施頻度	選択式	週に1日以上

また、本登録完了後の画面には運動習慣やスポーツの趣味趣向等に関するアンケートがポップアップ画面として表示される。アンケートに回答した場合は、回答データは後述するレコメンド機能に活用されるが、本アンケートは任意であるため、回答せずにポップアップ画面を閉じることが可能である。なお、本アンケートは本登録完了後に表示され、回答データは「こコスポ」のサーバー上に保管されるが、定期的に本アンケートを再提示することが可能である。再提示された際に回収されたデータを回答時期毎に整理することによって、パネルデータとして活用することが可能である。任意アンケートで表示される項目は、下表のとおりである。

表. 任意アンケートの項目リスト

項目	例
興味のある競技	野球・ソフトボール、サッカー・フットサル、等
いま実施している競技	野球・ソフトボール、等
過去1年間に観戦した競技	野球・ソフトボール、バスケットボール、ラグビー・アメリカンフットボール、等
運動を実施する理由	筋力・体力の増進や維持のため、運動不足を感じるから、等
運動の実施時間帯	夕方：15:00～18:00、夜間：18:00～21:00、等
「こコスポ」を知った理由	SNS、スポーツ庁のウェブサイト、等

「my こコスポ」アカウントの具備されている機能の詳細については、下表のとおりである。

表. 「my こコスポ」 アカウントの機能

機能	概要
レコメンド機能	登録された属性情報等に基づき、「おすすめのイベント情報」がマイページ、及びトップページで表示される。レコメンド機能に現在使われている登録情報は、下記のとおりである： <ul style="list-style-type: none"> - 居住地（都道府県） - 興味のあるスポーツ - いま実施しているスポーツ - 過去1年間に観戦したスポーツ
予約機能の利用	施設や教室の詳細ページに設定されている「お問い合わせフォーム」を利用できる。
問い合わせた施設の履歴	これまでに「お問い合わせフォーム」を利用した施設の一覧がマイページにて表示される。
問い合わせた教室の履歴	これまでに「お問い合わせフォーム」を利用した教室の一覧がマイページにて表示される。
登録情報の編集	本登録時に設定した情報やパスワード等をマイページにて変更できる。

3 「ココスポ」を活用した事業の成果

3.1 本章の構成について

本章では今年度の事業内容、及び成果について解説する。本章の構成は、下表のとおりである。

表. 第3章『「ココスポ」を活用した事業の成果』の構成

項番	項目	概要
3.1	本章の構成について	本章の構成について解説している。
3.2	情報登録機能の整備：大会やイベント、及び総合型地域スポーツクラブ	スポーツ大会・イベント・教室等、及び総合型地域スポーツクラブに係る情報の収集方法、登録件数、申込状況を解説している。
3.3	情報登録機能の整備：トピックス欄、及び広告枠の情報収集と整備結果	トピックス欄、及び広告枠に係る情報の収集方法、登録件数を解説している。
3.4	その他の情報収集と整備結果	全国のスポーツ施設位置情報、及び安心・安全にスポーツを実施するための情報の収集方法を解説している。
3.5	my ココスポアカウントの整備結果	「my ココスポ」アカウントの概要や登録件数を解説している。
3.6	認知度、及び有用性の周知広報施策	今年度の事業の一環として実施した周知広報施策の活動内容を解説している。
3.7	アクセスログ分析の結果	Web アクセス解析ツールの分析に基づいて、「ココスポ」のユーザー数やアクセス数等を解説している。
3.8	さいたま市、横浜市スポーツ協会等での実証事業	実証地域にて実施した情報閲覧者とスポーツ施設のマッチング実証、及び情報閲覧者とスポーツ教室のマッチング実証の実施概要、及び結果について解説している。
3.9	Web アンケート：スポーツ実行動への影響	「ココスポ」によるスポーツ実行動への影響を分析するために実施された Web アンケートの概要、及び集計結果を解説している。
3.10	「ココスポ」の課題や収益性に関する調査研究	「ココスポ」の課題や収益性に関する示唆を抽出するために実施されたヒアリングの概要、及びヒアリング結果を解説している。

なお、本事業の事業内容と成果については、アクセス解析ツールでの情報取得やWebアンケート調査にて取得したデータをもとに解説を実施している。以下に取り扱うデータの概要を取りまとめている。

○「ココスポ」のログデータ

「ココスポ」の利用者である情報登録者や情報閲覧者が「ココスポ」に登録したデータは、ログデータとしてココスポのサーバーに保存される。これらの情報は、個人を特定できる情報を取り除く前提のもと、管理者権限を用いることによって、当該データを電子ファイル（例：CSV、等）として抽出することが可能である。分析における観点として、今年度の事業の期間中に登録されたデータを参照することによって、各種情報の登録件数や「my ココスポアカウント」の登録件数等を確認している。

○アクセスログの分析

本事業においては、Web サイトアクセスツールによる「ココスポ」へのアクセスデータを分析している。Web サイトアクセスツールを活用することによって、「ココスポ」のアクセス数、ユーザー数、ページ閲覧数等の一般的なトラフィックデータや、ユーザーの年齢や性別等のような属性情報を取得することが可能である。収集したデータを活用することによって、Web サイトにアクセスした情報閲覧者の動向を把握し、定量的なデータに基づいた「ココスポ」の有用性を検証している。

なお、Web サイトアクセスツールが取得するデータは、情報閲覧者が能動的に回答したデータではなく、情報閲覧者のクッキー情報等に基づき推測されたデータであることを留意する必要がある。

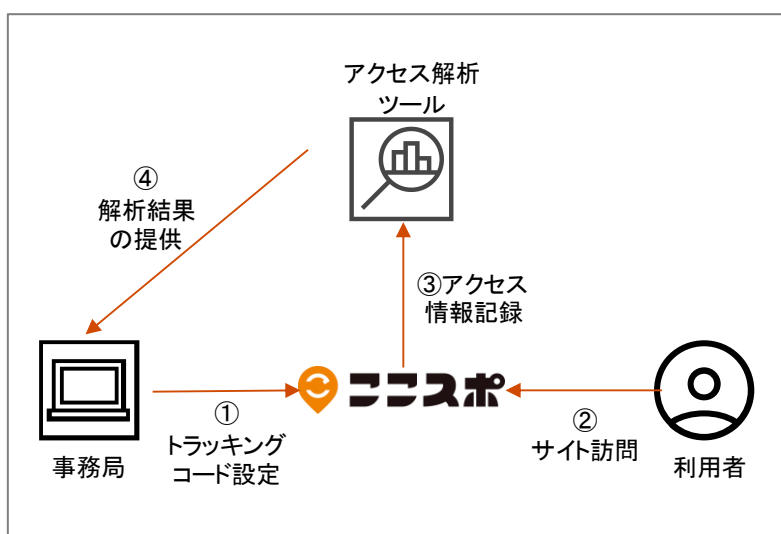


図. アクセスログ分析のイメージ

○Web アンケート

本事業では、「こコスポ」の利用による運動実施行動への影響を把握するため、実証地域であるさいたま市、横浜市の在住者、在勤者、在学者を対象とした Web アンケート調査を実施した。「こコスポ」による運動実施行動への影響を把握するために、Web アンケートを第 1 回（2021 年 1 月上旬）と第 2 回（2021 年 3 月上旬）の計 2 回に渡って実施することとし、アンケート調査の対象者を介入群と非介入群に分類した。第 1 回の調査時点で介入群のみに「こコスポの概要、及び URL を提示する」といった介入を施し、第 2 回の調査時点における介入群と非介入群の回答結果を比較することによって、介入から起因する回答結果の差分を分析している。なお、アンケート調査の対象者は無作為に「介入群」と「非介入群」に割り当てている。

また、「こコスポ」による情報提供が運動実施に一定の興味関心を持っている利用に対して効果的である仮説に基づいて、Web アンケートの対象者はトランスセオレティカル・モデルにおける「準備期」と「実行期」に該当する方とした。

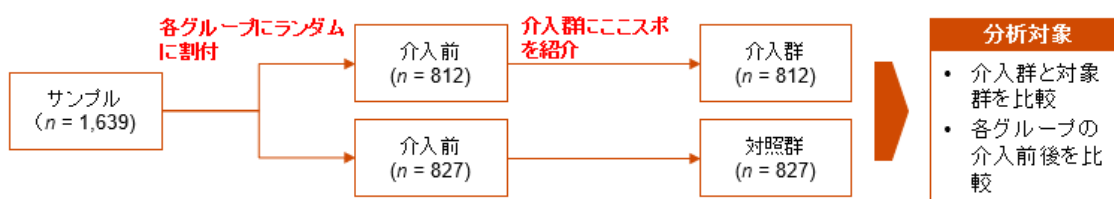


図. ランダム比較試験の設計図

アンケート調査の実施概要については、下表のとおりである。なお、本章では第 1 回調査と第 2 回調査の双方に回答した回答者のデータのみを取り扱う。第 1 回調査のみに回答した回答者のデータ ($n = 491$) は、最終的な調査対象より除外している。

表. Web アンケートの実施概要

項目	概要
調査日時	- 第 1 回調査：2021 年 1 月 6 日（水） - 第 2 回調査：2021 年 3 月 1 日（月）
対象者の条件①	- さいたま市、もしくは横浜市にて在住、在勤、在学している
対象者の条件②	- 準備期：過去 6 ヶ月、週 1 回未満の運動を実施している。また、6 ヶ月以内に定期的な運動を実施する予定である。 - 実行期：過去 6 ヶ月、週 1 以上の運動を実施している。また、週 1 以上の運動は、初めてから 6 ヶ月以内である。
サンプルの割当	- グループ①：準備期 / 介入群（406 名） - グループ②：準備期 / 非介入群（422 名）

	<ul style="list-style-type: none"> - グループ③：実行期 / 介入群（406名） - グループ④：実行期 / 非介入群（405名）
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> - 第1回の調査にて、グループ①とグループ③に「こコスポ」の概要、及びURLリンクを提示。 - URLリンク先となる「こコスポ」のトップページに遷移しない限りは、第1回の調査を完了できない仕組みである。 - 非介入群に対しては、「こコスポ」に関連する介入は施さない。

アンケート調査の設問項目は、運動実施工動に係る項目に限らず、「こコスポ」に掲載されている情報の利活用や、「こコスポ」の満足度等も含まれている。設問項目の概要については、下表のとおりである。

表. Web アンケート調査の設問項目

設問項目	介入群		非介入群	
	第1回	第2回	第1回	第2回
属性情報				
年齢 / 性別 / 職業 / 世帯構成	○		○	
運動実施状況				
2019年の運動実施頻度	○		○	
2020年度の緊急事態宣言発令中の運動実施頻度	○		○	
過去1ヶ月における運動実施頻度		○		○
運動実施の満足度	○	○	○	○
過去2ヶ月間で運動実施頻度が増えたか	○	○	○	○
過去2ヶ月間で運動実施頻度が増えた場合、こコスポの寄与度		○		
過去2ヶ月間で運動実施頻度が増えた場合、こコスポ以外の要因		○		
過去2ヶ月間で運動実施頻度が増えた要因				○
運動実施の阻害要因	○	○	○	○
こコスポによる運動実施の阻害要因の最小化について		○		
2021年度の緊急事態宣言による影響		○		○
情報入手経路				
運動やスポーツに関する情報の入手媒体や経路	○		○	
「こコスポの評価」				
第1回調査を回答した際に利用したこコスポの機能	○			
こコスポの認知度				○
過去2ヶ月間におけるこコスポの利用頻度		○		

過去2ヶ月間に利用したココスポの機能		○		
ココスポのイベント、サークル、教室、施設ページで利用した機能		○		
ココスポで閲覧したイベント、教室、施設の利用の有無		○		
ココスポで閲覧したイベント、教室、施設を利用しなかった理由		○		
トピックス欄に関する意見		○		
「コロナ禍」において、ココスポに求める役割		○		
ココスポの満足度、情報の充実度、情報の探しやすさ、等		○		

3.2 情報登録機能の整備：大会やイベント、及び総合型地域スポーツクラブ

3.2.1 大会やイベントの情報収集と整備結果

○大会やイベントの情報収集

今年度の事業では、団体名や団体のメールアドレスを登録することによって、大会やイベントに係る情報を掲載できるアカウントを発行できる機能を新たに開発した。アカウントの発行権限を事務局へ限定し、事務局からアカウント情報を展開したスポーツ関連団体のみが「ここスポ」へ情報を掲載できた昨年度とは異なり、より多くの情報登録者に情報を掲載いただける環境を整備している。

また、アカウントの発行、及び大会やイベントに係る情報を促すため、スポーツ庁を通じ、全国のスポーツ関連団体に対して情報登録の依頼を2020年8月中旬頃に展開した。結果として、2021年3月上旬までに計228のアカウントが発行された。¹

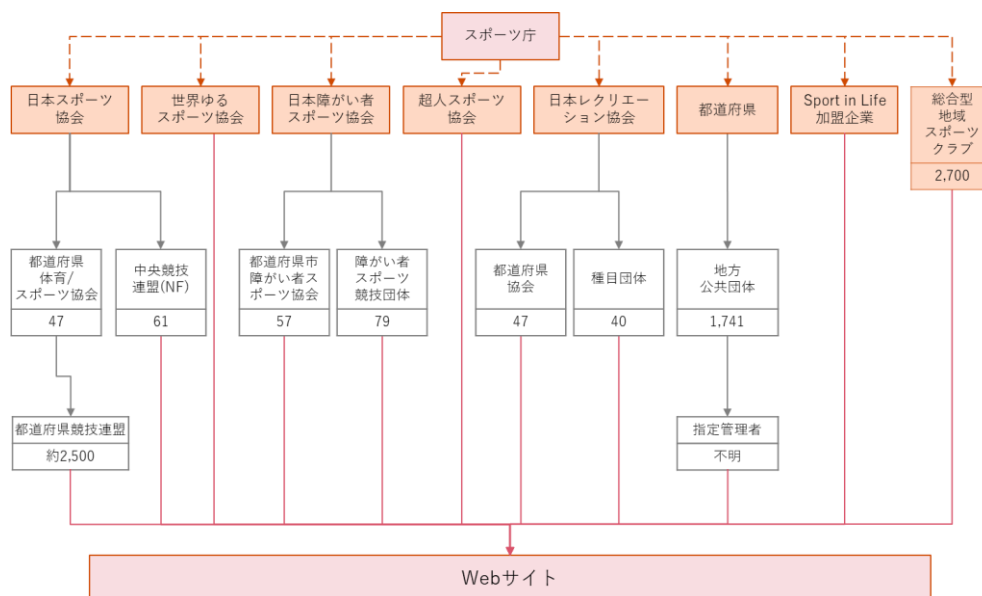


図. 大会やイベントの情報収集の依頼経路のイメージ

○大会やイベントの整備結果

情報登録に関する機能の改修後から2021年2月末までに計93件の大会やイベントが「ここスポ」に登録され、その内の計64件が一般公開された。大会やイベントの情報登録用アカウントの発行機能を開放したが、今年度の登録件数は、昨年度の事業の期間中に登録された268件の数値を下回る結果となった。

今年度の登録件数が昨年度の登録件数を大きく下回った要因として、いくつかの原因が考えられる。第一に、新型コロナウイルス感染拡大によりスポーツ大会やイベント等の多くは中止もしくは延期となっており、掲載情報の更新の負荷を登録団体が処理できないと判

¹ 昨年度の事業の一環として発行されたアカウントの利用を同時期に停止した。

断し、「ココスポ」への情報登録を取りやめた可能性が挙げられる。また、アカウント発行に関する通知が各都道府県やスポーツ関連団体の配下にある団体に行き届いておらず、アカウント発行数が想定よりも制限されてしまった可能性も想定される。このような要因が「ココスポ」に掲載されている情報量の低下を招き、「ココスポ」を利用する情報閲覧者数を低下させるとともに、情報掲載数が少ない Web サイトであるとスポーツ関連団体に認識され、情報登録の有用性を十分に理解いただけない結果となったことも考えられる。

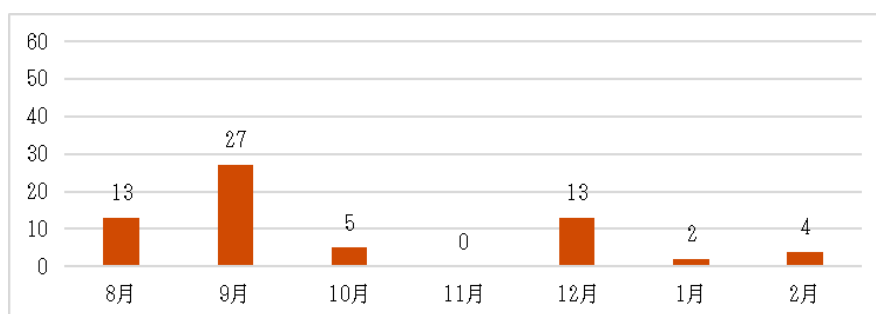


図. 大会やイベントの掲載件数（月別）

また、登録件数とは別の観点で情報の整備結果を分析すると、今年度の事業中に登録されたイベントや大会に地域の偏りが生じていることも確認できる。多くの掲載情報は関東圏に集中しており、全国の情報閲覧者のニーズに対応できない情報構成になっている。掲載情報に関する地域の偏りの原因として、情報掲載数の少なさの原因と同様に、アカウント発行に関する通知が全国のスポーツ関連団体に行き届いていないことや、「ココスポ」へ情報を登録する付加価値を十分に発信されていない可能性が想定される。

○情報閲覧者とのマッチングについて

さいたま市、及び横浜市の在住者等を対象とした Web アンケートにて、「ココスポ」に掲載されたイベントや大会への参加状況に係るデータを回収した。

第1回の調査から第2回までの調査までにイベントや大会の情報を閲覧した介入群の28名の内、15名（約54%）が「ココスポ」で閲覧した大会やイベントに参加した結果となっている。一方で、閲覧した大会等に参加しなかった13名（約46%）の回答者は、参加しなかった一番の理由として「自分の興味があるイベントが見つからなかった」と「参加したいイベントの開催日時と都合が合わなかった」を挙げている。サンプル数が少ないデータではあるが、「ココスポ」に掲載されたイベントのバリエーションが情報閲覧者のニーズと合致していないことが見受けられる。このようなことから「ココスポ」に掲載されている情報量を拡充し、より多くの選択肢を情報閲覧者に提供する必要がある。

表. 「こコスポ」で閲覧した大会やイベントに参加しなかった一番の理由（単数回答）

理由	回答件数
自分の興味があるイベントが見つからなかった	5
参加したいイベントの開催日時と都合が合わなかった	7
参加したいイベントへの移動が手間だから	0
一緒にイベントに参加してくれる仲間がないから	0
申し込みにあたって不明な点があった	0
こコスポから直接予約することができなかった	1
その他の理由	0

3.2.2 総合型地域スポーツクラブの情報収集と整備結果

○総合型地域スポーツクラブの情報収集

さいたま市のみ限定されていた総合型地域スポーツクラブ等のサークル情報は、今年度から全国の情報を掲載可能な機能へ改修した。なお、サークル情報は大会やイベントの情報登録用アカウントより登録可能な仕様となっている。そのため、必要情報を「こコスポ」に登録することにより、全国のスポーツ関連団体が制限なくアカウントを発行できる。

大会やイベントの情報登録と同様に、総合型地域スポーツクラブの情報登録の依頼をスポーツ庁、及び日本スポーツ協会を通じて全国の団体に展開した。総合型地域スポーツクラブの情報登録用アカウントは、大会やイベントの情報登録用アカウントでもあるため、前述した計 228 のアカウントが 2021 年 3 月上旬までに発行された。

○総合型地域スポーツクラブの整備結果

情報登録機能のリニューアル後から 2021 年 2 月末までに計 95 件のサークル情報が「こコスポ」に登録され、その内の計 64 件が一般公開された。昨年度まではさいたま市に所在する計 13 の団体に係る情報のみが掲載されていたため、本事業を通じて、情報掲載数は大幅に増えたことが伺える。次年度以降の取組みとして、情報掲載数を引き続き増加させることが求められる。

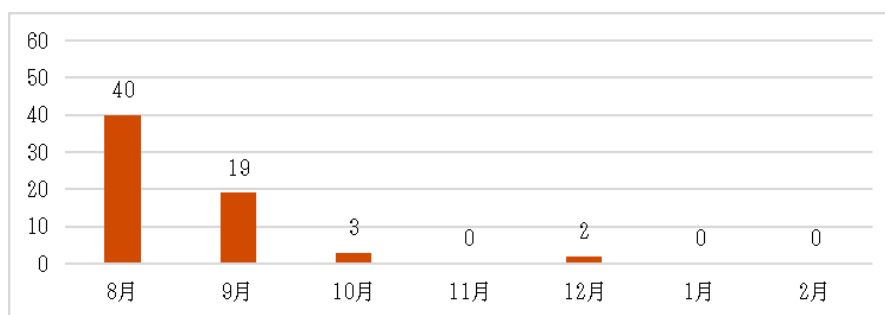


図. 総合型地域スポーツクラブの掲載件数（月別）

なお、大会やイベントと同様、掲載情報に関する地域の偏りが生じている。総合型地域スポーツクラブに関する掲載情報がない地域もあるため、次年度以降は地域による偏りを解消する施策を推進することも求められる。

3.3 情報登録機能の整備：トピックス欄、及び広告枠の情報収集と整備結果

3.3.1 トピックス欄の情報収集と整備結果

○トピックス欄の情報収集

本事業の取組みとして、スポーツに関連する様々な情報を自由記述式のテキストデータや画像ファイル等として掲載することが可能であるトピックス欄を実装した。各団体がトピックス欄にスポーツ関連の情報を発信し、「ここスポ」独自のコンテンツとして情報閲覧者に提供することにより、「ここスポ」のWebサイトとして認知度や付加価値を向上させることを目的として実施している。

トピックス欄は今年度からの取組みとなるため、トピックス欄の情報登録用アカウントの発行は事務局のみが実施できる運用方法を採用した。2020年10月から2020年11月にかけて、トピックス欄に関する周知をSport in Life加盟団体向けに実施し、アカウント発行の希望を事務局で受領次第、個別アカウントを事務局にて適宜発行した。結果として、2021年2月末時点で計32のトピックス欄の情報登録用アカウントを発行している。

○トピックス欄の整備結果

トピックス欄の機能公開から2021年2月末までに計35件の情報が「ここスポ」に登録され、その内の計33件が一般公開された。²今年度からの取組みとなるため、トピックスの掲載件数は引き続き拡充していく必要があるが、その他の課題もある。

トピックスの掲載件数を月別で整理した場合、殆どが12月に集中していることが確認できる。トピックス欄にて発信される情報はニュース記事やブログ記事と似ている性質を持ち、トピックス欄に掲載されている情報は定期的に更新され、情報閲覧者に最新の情報が常に提供されていることが好ましい。トピックス欄を活用するメリットをスポーツ関連団体に認知いただき、各団体が定期的にトピックス欄に記事を掲載する環境を構築することが求められる。

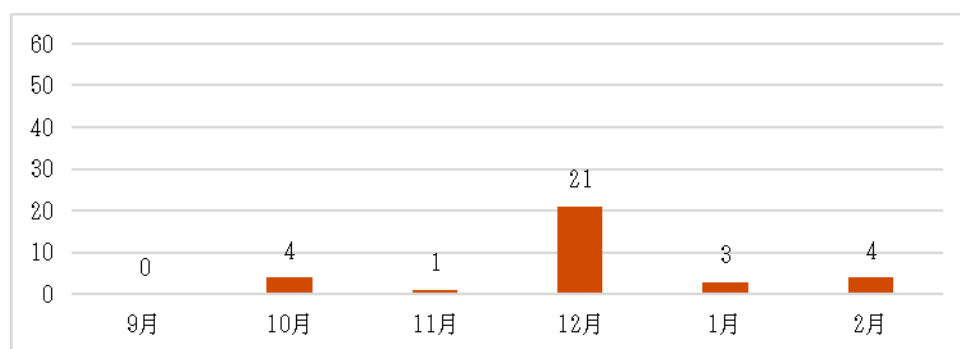


図. トピックス欄の掲載件数（月別）

² 2021年9月にSport in Lifeの「おしらせ」から計21件のデータを「ここスポ」に転載した。一方で、スポーツ関連団体による自主的な投稿ではないため、集計結果からは省略している。

○トピックス欄に関するご意見

さいたま市、及び横浜市の在住者等を対象とした Web アンケートにて、「あなたがここスポのトピックス欄に掲載してほしいコンテンツをお知らせください」の設問を提示し、トピックス欄のニーズに係るデータを回収した。

240名（約30%）の回答者が「自宅で参加できるトレーニングや教室について」を選択している。この結果はスポーツ実施における新型コロナウイルスの感染リスクを意識した回答結果であることが推察される。一方で、353名（約44%）の回答者が「特にない」を選択しており、回答者におけるトピックス欄の位置づけが不明確であることも想定される。より多くの情報閲覧者にトピックス欄へアクセスしていただくには、掲載される情報の拡充だけでなく、「ここスポ」におけるトピックス欄の位置づけを明確に示す必要があると考えられる。

第2回調査（複数回答）：介入群に割り当てられた準備期及び実行期（ $n = 812$ ）

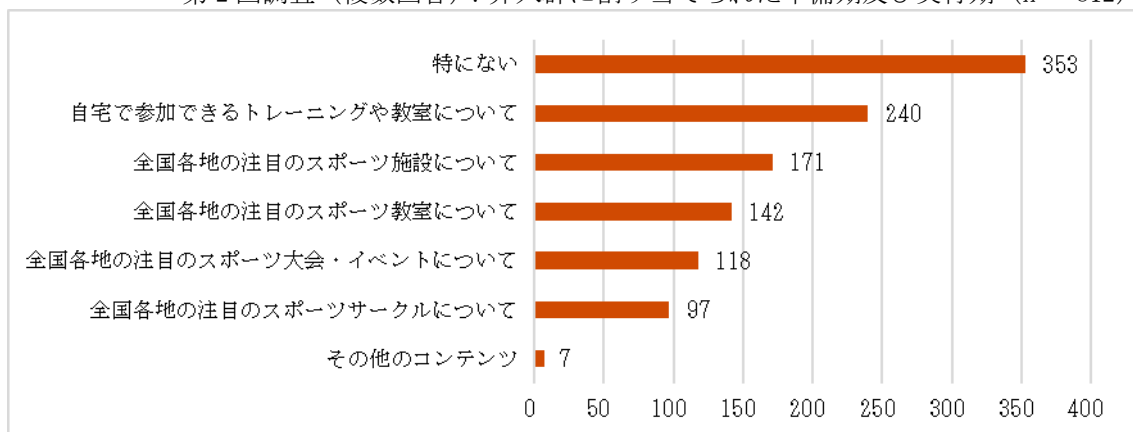


図. トピックス欄に関するご意見

3.3.2 広告の配信枠の情報収集と整備結果

○広告の配信枠の情報収集

今年度からの新たな取組みとして広告の配信枠を実装した。今年度事業では広告の配信枠を無償で利用することが可能であるが、将来的には広告の配信枠を「ここスポ」の収入源として活用することも想定される。そのため、広告の有償化に係る検討事項を整理することを前提に、今年度は配信枠の試験運用を実施した。

広告の配信枠に掲載する情報の収集方法は、トピックス欄と同様の方法を採用している。2020年10月から2020年11月にかけて、広告の配信枠に関する周知を Sport in Life 加盟団体向けに実施し、配信枠の利用の希望を事務局で受領次第、掲載に必要な手続きを事務局にて進めた。

○広告の配信枠の整備結果

広告の配信枠は無償で利用できるため、当初の想定では多くの団体が利用を希望することが想定されたが、2021年1月中旬から2021年2月末までの期間において、計2件の広告の配信に留まった。配信希望が2件に留まった原因として、広告を利用するメリットを明確に提示できなかったことが挙げられる。トピックス欄とは異なり、広告を配信するためには事務局とのやり取りを必要とするため、広告を利用するメリットが手続きにかかるコストを下回っている判断を団体側にされた可能性がある。

なお、Webアクセス解析ツールによる広告の配信枠へのアクセス数を分析したところ、掲載を実施した特定の広告（以下、広告A）には合計22件から24件のアクセス数があったことが推察される。³ トップページからの遷移数は19件であるが、広告を掲載していた2021年1月14日から2021年2月28日の期間におけるトップページのページビュー数が1,009であったことを踏まえると、全体の約2%が広告へアクセスしたことが推察される。

表. 広告Aへのアクセスの流入元（2021年1月14日～2021年2月28日）

広告の配信枠が掲載されているページ	広告Aのクリック数（推定）
トップページ	19
トピックス欄の一覧ページ	3
トピックス欄の詳細ページ	2
「my こコスポ」のマイページ	0

広告の掲載期間中における計24件のアクセス数は水準として低く、広告商品としての有用性を十分に発揮できていない。また、仮にコンバージョン率がスポーツ関連情報の情報発信サイトの水準を超えている場合であっても、「こコスポ」へのアクセス数が少ないため、クリック数の総数は必然的に限定される。各種団体における広告の利用意欲を促し、広告の商品としての価値を向上させるためには、広告をクリックするユーザー数の母数を増やすことが直近の課題であると思われる。コンバージョン率は、一定数のユーザー数を確保し、A/Bテスト等の検証を実施できる段階にて検討することにより、有効な結果が得られると考えられる。

³ Webアクセス解析ツールの仕様の関係上、当該ツールによる分析は、「こコスポ」のWebサイトにおけるユーザーの移動導線に係る全てのデータを回収できない。そのため、広告の配信枠へのアクセス数もあくまでも推察に留まることを留意する必要がある。また、2020年11月から2021年2月までに合計2件の広告が配信されたが、Webアクセス解析ツールの仕様の関係上、広告Aに関するアクセス情報のみ回収できた。

3.4 その他の情報収集と整備結果

3.4.1 全国のスポーツ施設位置情報の掲載

○全国のスポーツ施設位置情報の情報収集、及び整備結果

昨年度に引き続き、「ココスポ」のトップページでは全国のスポーツ施設の位置情報を掲載している。Google Map との API 連携によって、公共スポーツ施設を中心に各施設の位置情報を地図上で掲載している。公益財団法人日本体育施設協会から受領している各施設の位置情報をもとに当該ページを作成している。

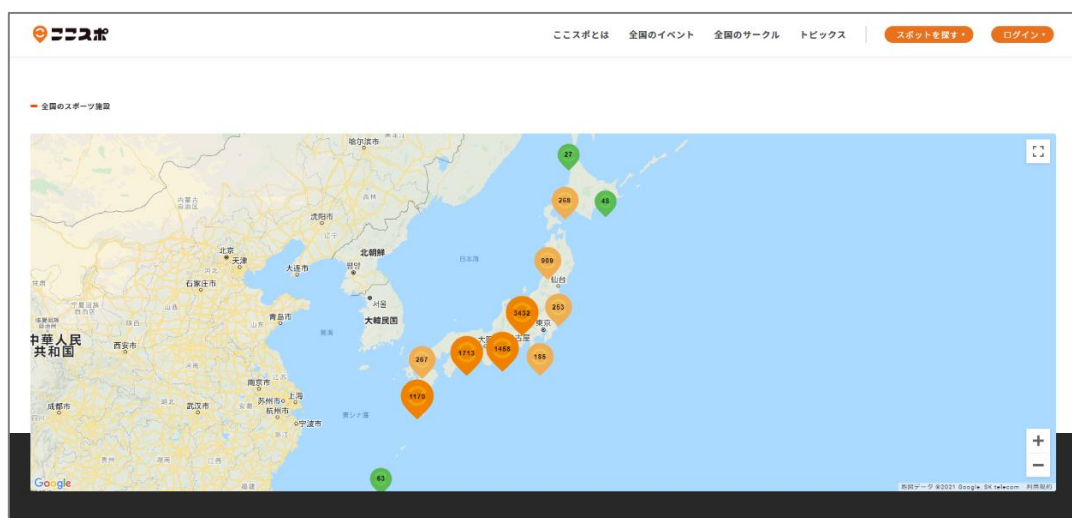


図. 全国のスポーツ施設の位置情報

3.4.2 安心・安全にスポーツを実施するための情報の掲載

○安心・安全にスポーツを実施するための情報の情報収集、及び整備結果

「ココスポ」を利用する情報閲覧者が安心、そして安全にスポーツを実施するために、スポーツ実施に係るガイドブック、及びスポーツ実施における新型コロナウイルス感染対策の情報を掲載した。

第一に、スポーツ関連団体が発行しているガイドライン等を「ココスポ」に掲載する調整を進めた。結果として、2021年3月時点において、合計4団体のガイドライン等を掲載している。整備結果の詳細については、下表のとおりである。

なお、現段階では競技の網羅性に欠ける掲載内容となっている。今後は、競技特性に応じた情報を拡充するため、現行の Web ページに反映されていない競技団体が発行しているガイドライン等を「ココスポ」に掲載することが求められる。

表. 「ここのスポ」に掲載されているガイドラインのリスト（競技団体別）

競技団体名	ガイドラインのタイトル
公益財団法人 全日本軟式野球連盟	- 学童部(小学生)の投球数制限について
	- 少年部(中学生)の投球数制限について
公益社団法人 日本山岳・スポーツ クライミング協会	- 「夏山登山の警告文」
	- 「山岳遭難事故防止のために」
公益社団法人 日本オリエンテーリング協会	- 「ナビゲーションスポーツのための安全ガイド」
公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟	- 「競技会での救急事故の対応について」

第二に、スポーツ庁、及び厚生労働省が公開している新型コロナウイルス感染対策の Web ページに関する URL を「ここのスポ」の特設ページにて掲載している。特設ページの URL は、イベントやサークルの詳細ページの上部に掲載されている。

なお、新型コロナウイルスの情勢は日々変動するため、各団体が発行している情報が定期的に更新される可能性があり、状況に応じて「ここのスポ」における掲載情報も適宜更新する必要がある。また、競技によって新型コロナウイルスの感染対策が異なることも想定されるため、今後は競技特性に応じた感染対策の情報を「ここのスポ」に掲載する必要があると考えられる。

表. 「ここのスポ」に掲載されている新型コロナウイルス関連の URL

発行団体名	Web ページのタイトル
スポーツ庁	- 「新型コロナウイルス感染対策 スポーツ・運動の留意点と、運動事例について」
	- 「スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて」
厚生労働省	- 「新型コロナウイルス感染症について」

3.5 「my こコスポアカウント」の整備結果

○ 「my こコスポ」アカウントの整備結果

情報閲覧者向けの新たな取組みとして、情報閲覧者向けの個人アカウント「my こコスポ」を発行できる機能を実装した。当該アカウントを作成することにより、問い合わせ機能を利用することや、登録された個人情報に基づいたレコメンド機能を利用することが可能となる。

結果として、「my こコスポ」アカウントの発行が可能となった2020年9月から2021年2月末までの期間において、計44のアカウントが作成された。⁴ 合計16件の登録件数を記録した9月以降、12月以外は月別の登録件数が10件を下回っている。

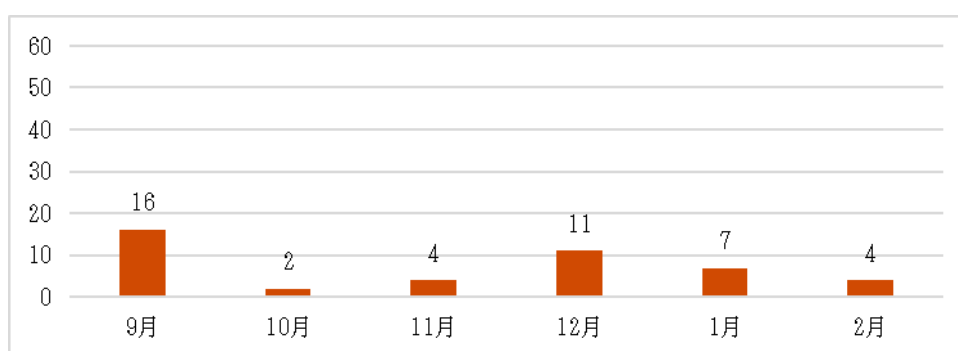


図. 「my こコスポ」の登録件数（月別）

機能実装の初年度ではあるが、「my こコスポ」の登録件数が「こコスポ」へアクセスした11,043のユーザー数の1%にも満たない水準にあるため、Webサイトへアクセスした情報閲覧者によるアカウント作成のコンバージョン率を改善する余地がある。

一方で、「こコスポ」はWebサイトとしての認知度が低く、Webサイトを閲覧している情報閲覧者の数が少ないため、「my こコスポ」アカウントを作成する潜在的な情報閲覧者の総数も限られていることが考えられる。仮にアカウント作成のコンバージョン率が劇的に改善した場合も、「my こコスポ」アカウントを登録するユーザー数が少ない以上は、アカウントの登録件数の総数は限られる。「my こコスポ」の登録者数を確保する施策と併せて、Webサイトの認知度向上、及びWebサイトへのアクセス数を確保する施策を進める必要があると思われる。

○ 「my こコスポ」アカウント保持者の運動実施頻度について

「my こコスポ」アカウントを作成するためには名前や住所等の個人情報を登録する必要があるが、併せて運動実施頻度のデータを取得している。サンプル数が少ないことを留意する必要はあるが、現時点において「my こコスポ」アカウント保持者の運動実施頻度の分布

⁴システム開発のために作成されたテストアカウントは、登録件数の総数から省略されている。

は下記のとおりである。週に1日以上運動を実施しているアカウント保持者が全体の8割を占めており、約半数のアカウント保持者が週に5日以上の運動を実施していることが確認できる。断片的な情報ではあるが、運動を習慣的に実施しているアカウント保持者がアカウントを発行する傾向にあると想定される。今後の課題として、運動を習慣的に実施していない情報閲覧者に対して、アカウント発行を促す方法を検討する必要がある。

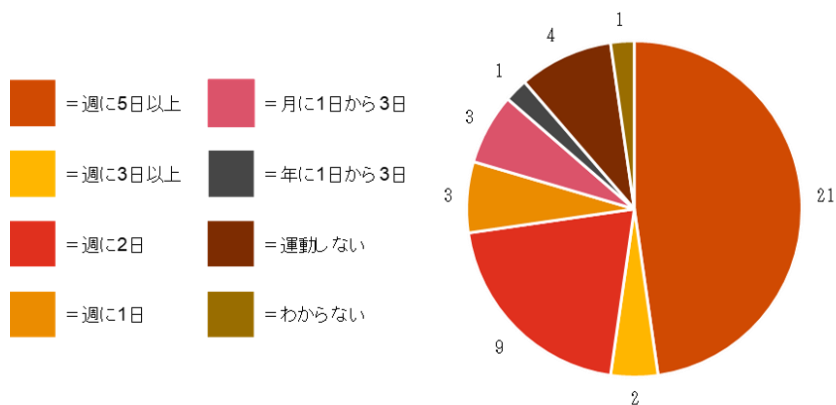


図. 「my kokospo」アカウント保持者の運動実施頻度（単数回答）

3.6 認知度、及び有用性の周知広報施策

○周知広報施策の概要

今年度の事業を通じて「ココスポ」の機能拡張を実施したが、併せて新しく開発された機能を認知していただく必要がある。このため、周知広報活動を通じて、情報登録者や情報閲覧者を対象とした「ココスポ」の周知広報活動を実施し、Webサイトの認知度の向上を図った。

加えて、情報登録者を対象とした周知広報活動を実施する際に、「ココスポ」へ情報を登録する有用性を示す必要がある。Webサイトとしての認知度が高い水準にあっても、利用する必要性を情報登録者が感じない限りは、情報登録者による利用率の向上も見込めない。そのため、情報登録者向けの周知広報施策を実施する際は、「ココスポ」の有用性を明示した。

○周知広報施策の展開例

今年度の事業において実施された周知広報施策については、下表のとおりである。

表. 本事業に関連する周知広報施策

発信元	媒体	発信内容
スポーツ庁	ホームページ	- 本事業の概要
	公式 Twitter 公式 Facebook	- 「ココスポ」の新機能 - 「ココスポ」を利用することによって期待される効果
	Sport in Life ホームページ	- 本事業の概要 - 「ココスポ」の機能概要 - 「ココスポ」を利用することによって期待される効果 - 「ココスポ」への情報登録方法
さいたま市	ホームページ	- 「ココスポ」のリニューアルの案内
	市広報誌	- 「ココスポ」のリニューアルの案内 - 「ココスポ」の新機能 (my ココスポアカウント) - 「ココスポ」へのアクセスQRコード
日本 トレーニング 指導者協会	セミナー	- 本事業の概要 - ココスポへの情報登録について

3.7 アクセスログの解析

Web サイトアクセス解析ツールを用いて、「こコスポ」をリニューアルした2020年9月1日時点から2021年2月28日時点までのユーザー数等を整理した。5ヵ月間における期間において、「こコスポ」には11,043名のユーザーが訪問している。また、2019年11月からの3ヵ月間の期間における「平均セッション時間」が1分43秒、「ページ/セッション」が2.19であったことを踏まえると、当該指標が今年度事業において、向上している。

表. Web サイトアクセス解析ツールによるデータ把握例

項目	概要	数値
ユーザー数	期間内に「こコスポ」にアクセスした固有のユーザーの総数	11,043
ページビュー数	期間内にページが読み込まれた回数	36,008
平均セッション時間	「こコスポ」にアクセスしたユーザーがWebサイトを離脱するまでの平均時間（＝平均滞在時間）	2分7秒
ページ/セッション	「こコスポ」にアクセスしたユーザーがWebサイトを離脱するまでに閲覧するページ数	2.66

一方で、「月間ページビュー数」や「月間ユーザー数」のデータにも着目した場合、今年度の事業では全国のサークル情報や、トピックス欄の実装を実施したにも関わらず、当該指標が低い水準で推移している。一部の指標は改善している傾向にあるが、「こコスポ」のWebサイトとしての認知度が低い状況であることが想定される。

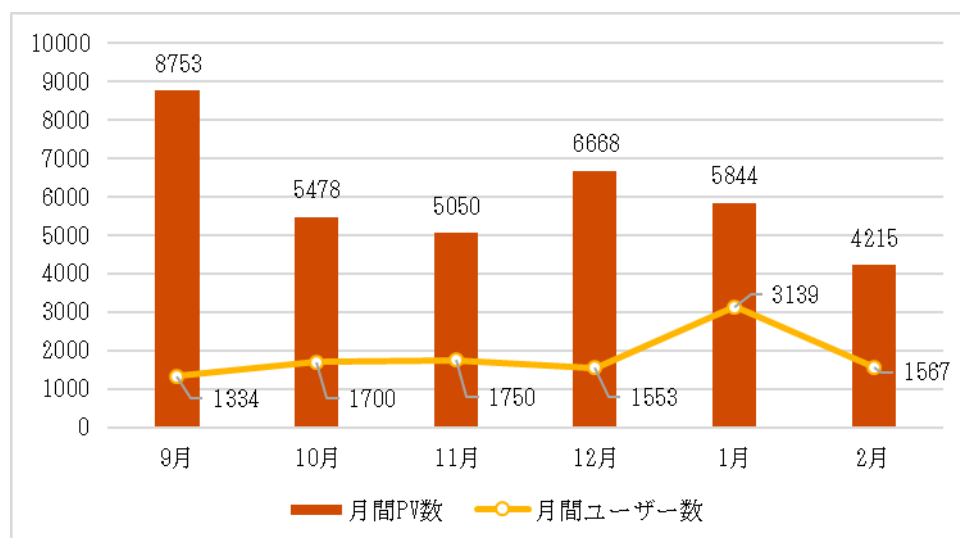


図. 「こコスポ」の月間ページビュー数、及び月間ユーザー数

「こコスポ」のアクセスデータをページ別で整理した場合、多くのアクセスがトップページ等に集中していることが確認できる。情報登録者が掲載した情報としては、「第28回JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会」のイベントのみが多くのアクセス数を集め、上位10項目に加わっている。

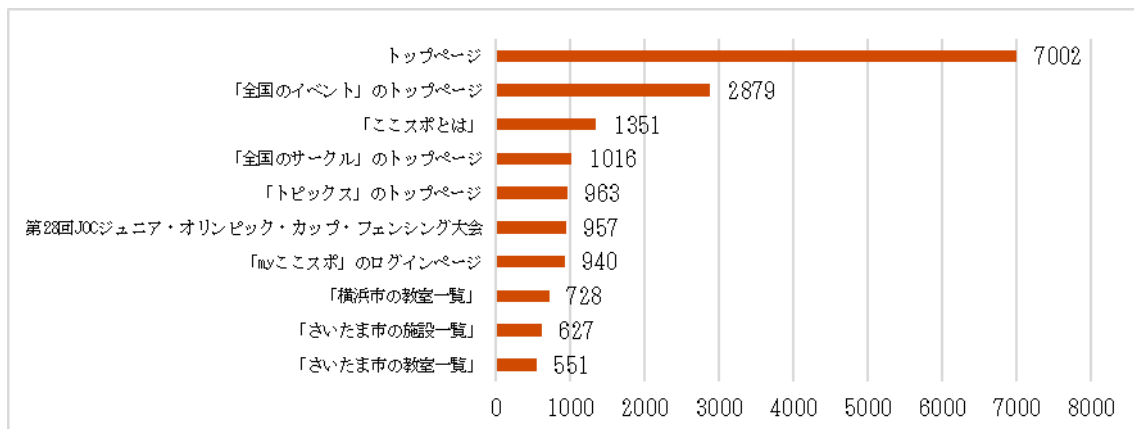


図. 「こコスポ」のページ別アクセス数

また、「こコスポ」のランディングページ別のセッション数を整理した場合、ユーザーが複数のイベントの詳細ページに直接アクセスしていることが確認できる。これは、一定数のユーザーが「こコスポ」を直接検索せず、特定のイベントの名称を検索していることが推察される。その際に「こコスポ」の詳細ページは検索エンジンの上位に掲載され、多くのユーザーが「こコスポ」に流入していることが考えられる。

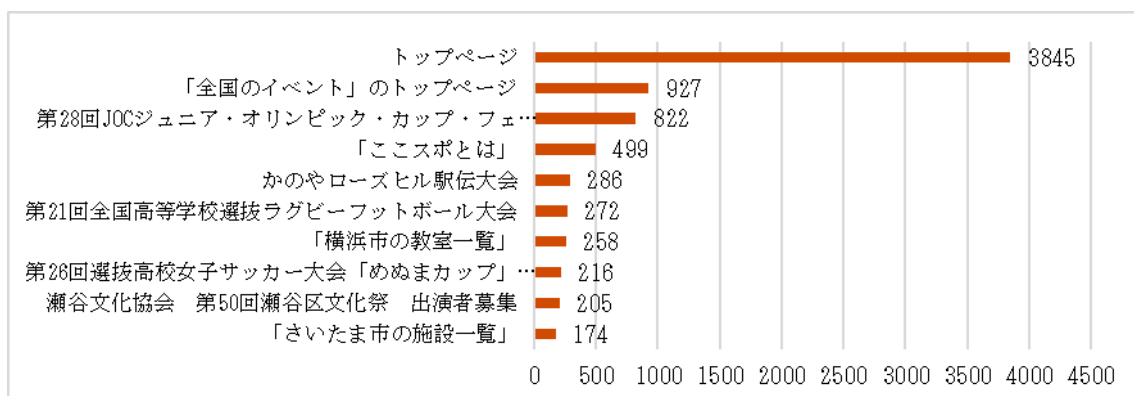


図. 「こコスポ」のランディングページ別のセッション数

一方で、各種イベントの詳細ページの「ページ/セッション」を分析した場合、それぞれの数値が「こコスポ」の平均値(2.66)を大きく下回っていることが分かる。全ての詳細ページの「ページ/セッション」が2.00を下回っているため、特定のイベント情報にアクセスしたユーザーの多くはそのまま「こコスポ」の他ページを閲覧せず、Webサイトから離脱し

ていることが想定される。「こコスポ」は全体的の課題としてユーザー数やページビュー数を向上させる必要があるが、特定のイベントや大会の検索から流入したユーザーを「こコスポ」へ掲載されている他の情報を誘導し、多くの情報を閲覧いただく等の離脱率を下げる対策を併せて検討することが肝要である。

表. 「こコスポ」のランディングページ別のページ/セッション

ページの名称	ページ/セッション
トップページ	4.40
「全国のイベント」のトップページ	2.22
第28回 JOC ジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会	1.15
「こコスポとは」	2.84
かのやローズヒル駅伝大会	1.19
第21回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会	1.12
「横浜市の教室一覧」	2.46
第26回選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」 in 熊谷	1.21
瀬谷文化協会 第50回瀬谷区文化祭 出演者募集	1.22
「さいたま市の施設一覧」	2.85

3.8 さいたま市、横浜市体育協会等での実証事業

3.8.1 実証事業の概要

本事業では、さいたま市と横浜市に所在する公共スポーツ施設、及びスポーツ教室を対象とした実証事業を実施した。当該地域に所在する施設と教室の情報を「ここスポ」に掲載し、情報閲覧者とのマッチングの成果を検証した。

昨年度の事業では、実証用アカウントをさいたま市、及び横浜市に単独アカウントとして発行していたが、今年度の事業では施設や教室の管理者毎のアカウントを発行した。アカウント発行の希望を確認次第、事務局にて必要手続きを実施することによって、希望を出した団体へアカウントを発行する手法を採用した。

また、当該アカウントでは、施設情報と教室情報の双方を登録することが可能である。そのため、公共スポーツ施設を管理している指定管理者は、運営している施設の情報に加えて、自主事業として開催しているスポーツ教室の情報を掲載することが可能であった。

実証用アカウントの発行数の内訳については、下表のとおりである。

表. 実証用アカウントの発行数の内訳

地域	管理者の区分	アカウントの発行数
さいたま市	公共（指定管理者含む）	6
	民間事業者	2
横浜市	公共（指定管理者含む）	19
	民間事業者	0

なお、情報閲覧者とのマッチングを促すための機能として、実証用アカウントには予約機能と空き情報掲載機能が付与されている。各機能の利用は各団体の判断に任されているが、それぞれの機能を利用することによって、「ここスポ」の情報閲覧者とのマッチングが促進されることを想定した。情報収集の調整を進めると同時に、予約機能と空き情報掲載機能の活用を施設や教室の管理者等に促した。

3.8.2 情報閲覧者とスポーツ施設のマッチング実証

○スポーツ施設情報の情報収集、及び整備結果

「ここスポ」の掲載対象施設をさいたま市と横浜市に所在するスポーツ施設としたが、基本的には昨年度の登録された施設情報を引き継ぎ、必要に応じて既存情報の修正を事務局にて実施した。一方で、横浜市の施設情報については、横浜市スポーツ協会と連携した上で、新規の施設を3件掲載した。

実証事業を実施するにあたって、既存の施設情報に加えた修正事項については、下表のとおりである。

表. 実証地域におけるスポーツ施設情報の修正内容

実証フィールド	変更内容の概要
さいたま市	- 指定管理者が自主的に掲載した施設情報が既存データと重複しているため、既存データを非公開設定に変更。
横浜市	- 横浜市スポーツ協会と連携し、計 11 個の施設情報を修正。 - 横浜市スポーツ協会と連携し、計 3 個の施設情報を新しく掲載。 - 横浜市スポーツ協会と連携し、閉館した施設の掲載を取り下げた。

公共スポーツ施設の掲載に係る調整を進めると同時に、「こコスポ」の掲載情報を拡充するために、民間スポーツ施設の掲載に係る調整も実施した。掲載対象施設が候補として挙がり次第、「こコスポ」への掲載を当該施設の管理者に直接依頼する手法を採用した。

○スポーツ施設情報の整備結果

計 35 件のさいたま市のスポーツ施設、計 27 件の横浜市のスポーツ施設の情報が「こコスポ」に掲載されたが、民間スポーツ施設の新規掲載は実現しなかった。また、新しく開発された予約機能、及び空き情報掲載機能を活用した団体は少数あったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施設の閉鎖、教室の中止に伴い、掲載を取りやめる結果となった。

スポーツ施設情報の情報収集や、予約機能と空き情報掲載機能の利活用に係る課題に関しては、スポーツ教室の情報掲載に係る課題と併せて詳述する。

○スポーツ施設情報のマッチング実績

さいたま市、及び横浜市の在住者を対象とした Web アンケートにて、「こコスポ」に掲載された施設情報の利用件数に係るデータを回収した。

第 1 回の調査から第 2 回までの調査までにスポーツ施設の情報を読覧した介入群の 53 名の内、28 名（約 53%）が「こコスポ」で読覧した施設を利用したことを報告している。一方で、読覧した施設を利用しなかった 25 名（約 47%）の回答者について、参加しなかった理由の回答傾向が分散する結果となった。回答者のニーズに係る施設の「利用時間帯」や「場所」が多く回答件数を集めているが、施設内容とは直接関係のない「仲間」や「こコスポの予約機能」を選択している回答者も一定数確認できる。サンプル数が少ないことを留意する必要はあるが、「こコスポ」にて掲載されている施設情報の拡充を進めつつ、施設を共に利用する仲間のマッチング機能の具備や、施設管理者に予約機能の利用を促す施策の推進を進める必要があると考えられる。

表. 「ここスポ」で閲覧した施設に利用しなかった一番の理由（単数回答）

理由	回答件数
自分の興味がある施設が見つからなかった	5
使いたい施設の利用時間帯と都合が合わなかった	9
利用したい施設への移動が手間だから	4
一緒に施設を利用してくれる仲間がないから	4
申し込みにあたって不明な点があった	1
ここスポから直接予約することができなかった	2
その他の理由	0

3.8.3 情報閲覧者とスポーツ教室のマッチング実証

○スポーツ教室情報の情報収集

さいたま市、及び横浜市スポーツ協会と連携し、実証地域に所在する公共スポーツ施設の指定管理者が自主事業として展開しているスポーツ教室の掲載を実施した。スポーツ教室の掲載を希望している団体を対象に、実証用のアカウントを発行したが、各種教室の掲載はそれぞれの管理者へ依頼した。加えて、横浜市スポーツ協会のスポーツ情報ポータルサイト「ハマスポ」に掲載されているスポーツ教室の情報を横浜市スポーツ協会から CSV データとして受領し、当該データを「ここスポ」へ一括登録した。

また、スポーツ庁と特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会と連携し、実証地域にてスポーツ教室を運営し、「ここスポ」への掲載を希望する民間事業者を募集した。「ここスポ」の概要やアカウントの発行方法に関する説明会を2021年1月上旬に計2回実施し、希望があった団体を対象にアカウントを発行した。結果として、民間事業者向けの実証用アカウントを計2個発行した。

○スポーツ教室情報の整備結果

2020年9月から2021年2月にかけて、計84件のスポーツ教室が「ここスポ」に登録され、その内の計78件が一般公開された。登録情報の内訳については、下記の図のとおりである。⁵ なお、「ここスポ」に掲載された計78件の教室情報の内、予約機能のために使用するメールアドレスが登録されている情報は3件であった。また、空き情報掲載機能については、当該機能を利用した団体を確認できなかった。

⁵ 2020年9月に登録された横浜市のスポーツ教室は、全て「ハマスポ」からの転載である。また、2021年2月に掲載されたさいたま市の教室は、全て民間事業者によるものである。

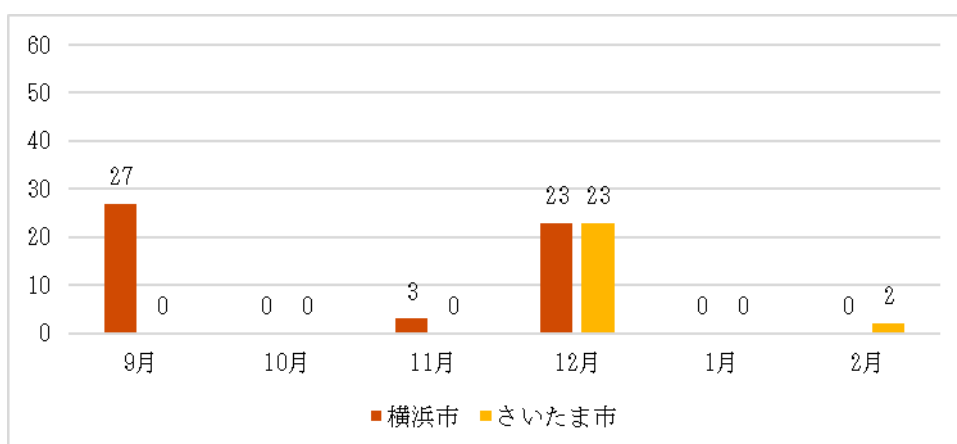


図. 実証地域におけるスポーツ教室の掲載推移

○スポーツ教室情報のマッチング実績

さいたま市、及び横浜市の在住者等を対象とした Web アンケートにて、「ココスポ」に掲載された教室情報の参加件数に係るデータを回収した。

第1回の調査から第2回までの調査までに教室の情報を閲覧した介入群の49名の内、27名（約55%）が「ココスポ」で閲覧した教室に参加したことを報告している。一方で、閲覧した教室に参加しなかった22名（約45%）の回答者は、スポーツ施設の結果と同様、参加しなかった理由が分散している。一方で、全体的な傾向として、「利用時間」に係る選択肢を選んだ回答者の割合がスポーツ施設の結果より大きい傾向にあることが伺える。終日の利用が可能であるスポーツ施設と異なり、スポーツ教室は開催時間が限られているため、「利用時間」に関するニーズがより顕著になっている可能性がある。「ココスポ」におけるスポーツ教室の情報量を拡充し、多岐に渡る利用時間に開催されているスポーツ教室の情報を情報閲覧者に提供する必要がある。

表. 「ココスポ」で閲覧した教室に参加しなかった一番の理由（単数回答）

理由	回答件数
自分の興味がある教室が見つからなかった	3
参加したい教室の開催日時と都合が合わなかった	10
参加したい教室への移動が手間だから	3
一緒に教室に参加してくれる仲間がないから	2
申し込みにあたって不明な点があった	3
ココスポから直接予約することができなかった	1
その他の理由	0

3.8.4 スポーツ施設、及びスポーツ教室の情報掲載に係る課題

今年度の実証事業では、実証地域におけるスポーツ施設、及びスポーツ施設の情報掲載機能と併せて、情報閲覧者とのマッチングを促す「ここスポ」の新機能を提供した。スポーツ関連情報の情報収集や、予約機能と空き情報掲載機能の利活用に関連して、以下の課題が顕在化した。

○既存システムとの二重管理

実証地域における多くの公共スポーツ施設には、オンライン予約システムが既に導入されていた。これらの施設に「ここスポ」の予約機能や空き情報掲載機能を導入する場合、施設の予約申し込みが発生する度に既存システムと「ここスポ」の情報を更新する必要がある。一方の更新が遅れた場合、情報閲覧者に公開されている情報に齟齬が生じてしまうため、2つシステムの予約管理を遅延なく実施することが求められる。特に本年は新型コロナウイルスの情勢が日々変動していた影響もあり、感染状況に対応した迅速な情報更新の重要性が例年以上に高い傾向であった。結果として、情報の更新作業の負荷が大きく、多くの団体に「ここスポ」の予約機能と空き情報掲載機能の利用いただくことができなかった。

一方で、スポーツ教室については、オンライン予約システムが導入されている割合は低いと考えられる。実証地域であるさいたま市と横浜市においても、オンライン予約システムを導入していないスポーツ教室が存在する。そのため、スポーツ教室については、二重管理の課題を調整する余地があると考えられる。ただし、オンライン予約システムを導入していない場合、後述する導入コストの課題を解決する必要がある。

○ここスポ利用に関する導入コスト

オンライン予約システムを導入しておらず、電話や窓口により予約管理を実施している施設や教室については、「ここスポ」の導入に係る手間（コスト）が課題として生じた。「ここスポ」を導入することによって既存の運用フローを一部見直す必要があり、個別の説明を複数団体へ実施したが、利用に関しては消極的な意見が大半であった。オンライン予約システムを導入していない施設にとって、「ここスポ」は有用なツールであると思われるが、現行の運用フローを変更するという手間が「ここスポ」を導入するメリットよりも大きいと判断された可能性が高い。

○民間スポーツ施設、教室の管理者との連携

地方公共団体において民間スポーツ施設や教室と連携する部署はスポーツ関連部署に限られず、多岐に渡る。そのため、実証地域における民間スポーツ施設や民間スポーツ教室へ網羅的な依頼を実施するためには、複数部署と連携する必要が生じた。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全庁的な取組みへ昇華させることが困難であった。このようなことから、「ここスポ」を民間スポーツ施設や民間スポーツ教室の運営者に広く周知する

場合は、地方公共団体以外の団体も含めた取り組みが必要であると想定される。

なお、スポーツ教室については、スポーツ庁と特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会と連携し、当該協会に所属している民間スポーツ教室の管理者に対して、「ここスポ」への情報掲載の依頼を展開した。依頼をするにあたって、「ここスポ」に関する説明会を開催したが、結果として実証用アカウントは2個のみ発行された。要するに、民間事業者との連携方法を確立した場合であっても、「ここスポ」の利活用を民間事業者に促す作業の重要性は依然として残る。そのため、民間事業者との連携方法の検討と併せて、民間事業者が「ここスポ」を利用するメリットも整理し、「ここスポ」を利用することによって民間事業者が享受するメリットを周知広報施策にて示す必要がある。

3.9 Web アンケート：スポーツ実施行動への影響

3.9.1 Web アンケート調査の実施概要

スポーツ実施率向上を目的とした Web サイトを構築するためには、客観的なデータを用いて、「ココスポ」によるスポーツ実施への影響を検証する必要がある。「ココスポ」を利用したことによるスポーツ実施行動への影響を把握するため、実証地域であるさいたま市、及び横浜市の在住者、在勤者、在学者を対象としたアンケート調査を実施した。

アンケート調査の対象である Web モニターは「介入群」と「非介入群」に分けられ、介入群に対して「ココスポの概要、及び URL を提示する」介入が施されている。また、交絡因子等による影響を最小化するために、アンケート調査の対象者は無作為に「介入群」と「非介入群」に割り当てた。

3.9.2 Web アンケート調査の回答結果

本章で解説する Web アンケート調査の回答結果は、下表のとおりである。

表. Web アンケートの取り纏めの構成

項目	概要
準備期におけるスポーツ実施行動の変容	準備期に該当する介入群と非介入群の回答者の運動実施頻度の比較
実行期におけるスポーツ実施行動の変容	実行期に該当する介入群と非介入群の回答者の運動実施頻度の比較
「ココスポ」の利用頻度	第1回調査（2021年1月上旬）から第2回調査（2021年3月上旬）までの期間における介入群グループによる「ココスポ」の利用頻度
「ココスポ」による阻害要因の最小化	「ココスポ」の利用によって解消されることが期待される運動実施の阻害要因
「ココスポ」の効果に対する評価	第2回調査時点（2021年3月上旬）にて運動実施頻度が増えたと実感している回答者による「ココスポ」の影響の評価
新型コロナウイルスの影響	2021年1月に発令された緊急事態宣言による運動実施の環境への影響

○準備期におけるスポーツ実施行動の変容

第1回調査時点（2021年1月上旬）の運動実施頻度について、準備期に該当する介入群と非介入群の回答者を比較したところ、データの分布に大きな差異がない結果であった。一方で、「ココスポ」を介入群のみに紹介し、介入群における運動実施行動の変容が期待され

ていたが、第2回調査時点（2021年3月上旬）では介入群における週1日以上運動をしている回答者の割合が非介入群より低い結果となった。⁶

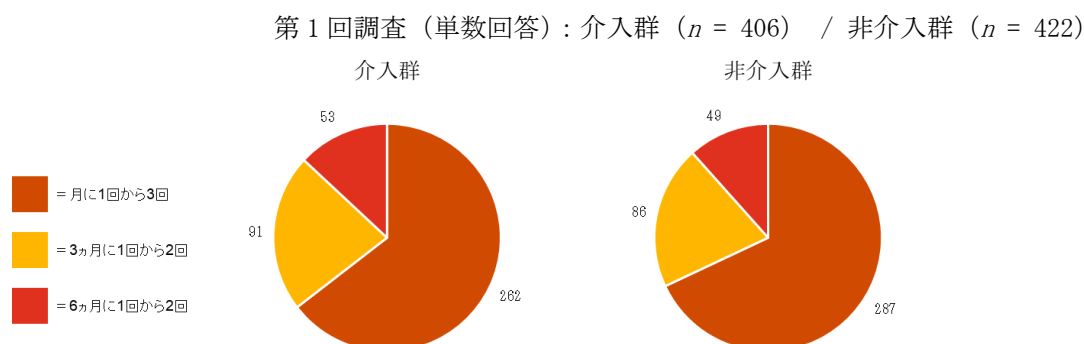


図. 第1回調査時点における準備期の回答者の運動実施頻度

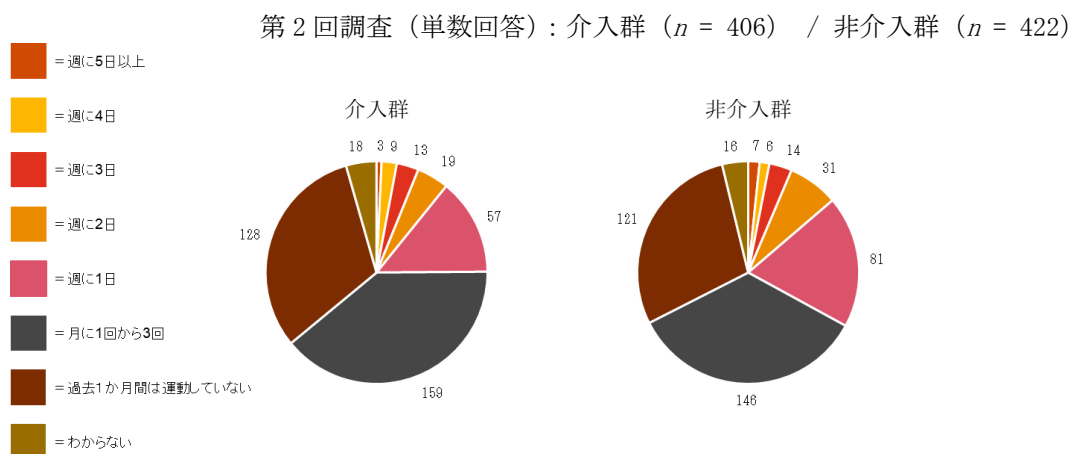


図. 第2回調査時点における準備期の回答者の運動実施頻度

準備期の回答者は「6ヵ月以内に週1回以上な運動を実施する予定である」と定義されているため、介入群における週1回以上の運動を実施している回答者の割合が大きくなることが期待されたが、第2回調査時点では変容は確認できなかった。

介入群における週1日以上運動をしている回答者の割合が小さい結果は、「ここスポ」の利用による影響ではなく、第3の因子による影響であることが推測される。もしくは、「ここスポ」に掲載されているイベント等の詳細ページには新型コロナウイルスの感染対策が掲載されているページへの導線が用意されているため、当該ページを閲覧したことによって運動の実施を慎重になった可能性がある。⁷

⁶ 第2回調査時点（2021年3月上旬）の準備期に該当する回答者のデータを「運動を週1日以上実施（ $n = 240$ ）」、「運動を週1日未満（ $n = 305$ ）」、「運動していない（ $n = 249$ ）」に分け、介入との独立性をカイ二乗検定で検証したところ、5%の水準で有意であることを確認した。なお、カイ二乗検定はデータの独立性の検証を目的としており、変数間の関係の強さを示すものではないことを留意する必要がある。

⁷ 当該ページにはスポーツ庁、及び厚生労働省が公開している新型コロナウイルスの感染防止対策の Web

○実行期におけるスポーツ実行動の変容

第1回調査時点の運動実施頻度について、実行期に該当する介入群と非介入群の回答者を比較したところ、介入群における「週に5日以上」の回答者の割合が非介入群より大きいことや、非介入群における「週1日以上」の回答件数も介入群より多いことが確認できる。

介入群における週に5日以上運動する回答者の割合が非介入群より大きいですが、こちらの差異は第1回調査時点のデータの分布が第2回調査時点の回答結果に反映されていることが考えられる。そのため、準備期の結果と同様、実行期への「ココスポ」の介入効果は低いと想定される。

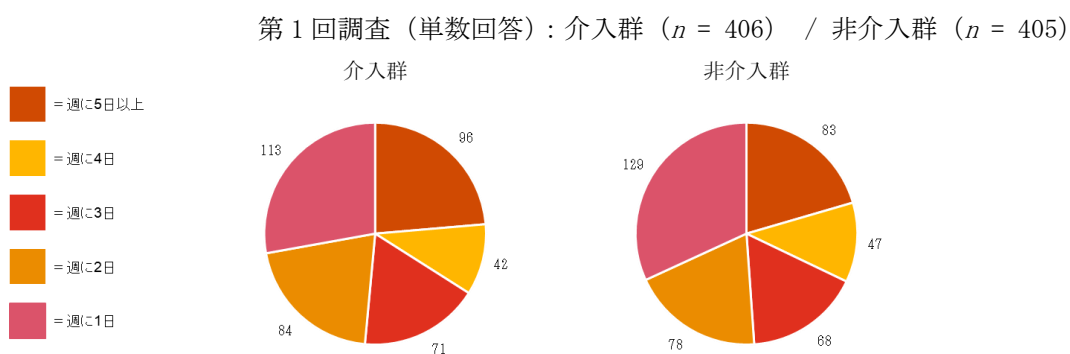


図. 第1回調査時点における実行期の回答者の運動実施頻度

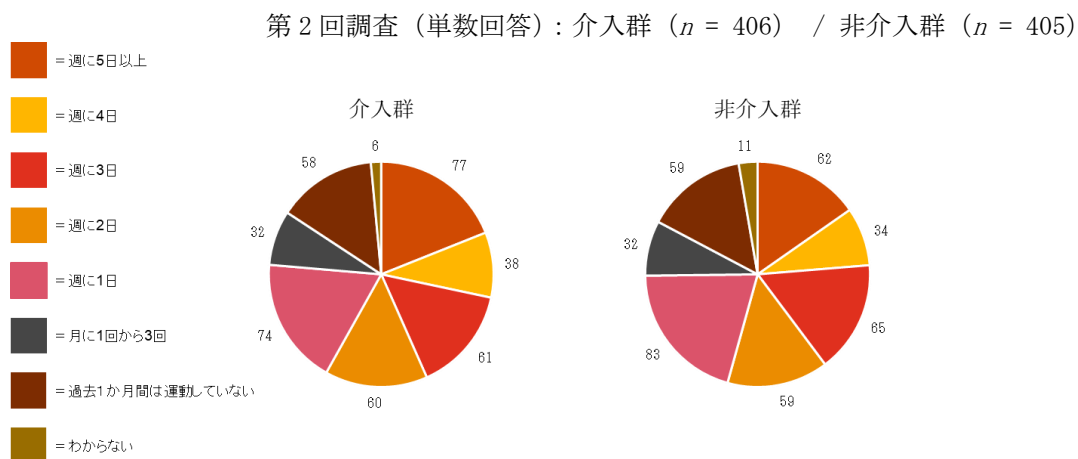


図. 第2回調査時点における実行期の回答者の運動実施頻度

○「ココスポ」の利用頻度

第2回調査時点にて、介入群に割り当てられた実行期、及び準備期の回答者を対象に「過去2ヵ月間におけるココスポの利用頻度についてお知らせください」の設問を提示したところ、685名（約84%）が「一度も使っていない」を選択している。介入群に割り当てられ

ページのURLが掲載されている。詳細については、「3.4.2 安心・安全にスポーツを実施するための情報の掲載」を参照。

た回答者は、第1回調査を展開した際に「ココスポ」を紹介しているが、それ以降に大半の回答者がWebサイトに再訪していないことが確認できる。一方で、週に1回以上確認している回答者は、全体の73名（約11%）に留まる結果となった。

第2回調査（単数回答）：介入群に割り当てられた準備期及び実行期（ $n = 812$ ）

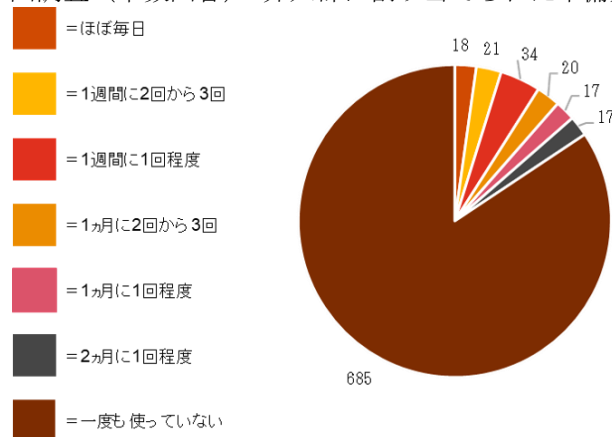


図. 第2回調査時点における過去2ヵ月間の「ココスポ」の利用頻度

第1回調査時点にて、運動実施頻度を増やす意欲を持っている回答者が介入群の約64%（520名）を占めているにも関わらず、「ココスポ」を積極的に利用していただくインセンティブが設定できなかったことが、介入群における運動実施工動の変容が確認できなかった結果に繋がったことが考えられる。なお、827名が割り当てられている非介入群には、Webアンケートを通じて「ココスポ」を紹介していないが、当該サイトの認知度を調査したところ、88名（約11%）の回答者が「ココスポ」を認知している結果であった。

○「ココスポ」による阻害要因の最小化

第2回調査時点にて、介入群に割り当てられた実行期、及び準備期の回答者を対象に「ココスポを利用してみた結果、あなたの身の回りにある（スポーツ実施の）阻害要因で最小化されたものは何ですか」の設問を提示したところ、358名（約44%）の回答者が「特にない」を選択した。

その他の回答選択肢の傾向については、準備期と実行期による差異を一部の項目で確認できる。例えば、「スポーツ関連情報との接触機会が増える」や「情報収集にかかる時間を最小化できる」と選択した実行期の回答者の割合が準備期の割合よりも大きいことが見受けられる。一方で、「無料でスポーツ関連情報を収集できる」を選択した準備期の回答者の割合が実行期より僅かに大きく、「わからない」の回答選択肢については実行期の倍以上の回答件数を集めている。

第2回調査（複数回答）：介入群に割り当てられた準備期及び実行期（ $n = 812$ ）

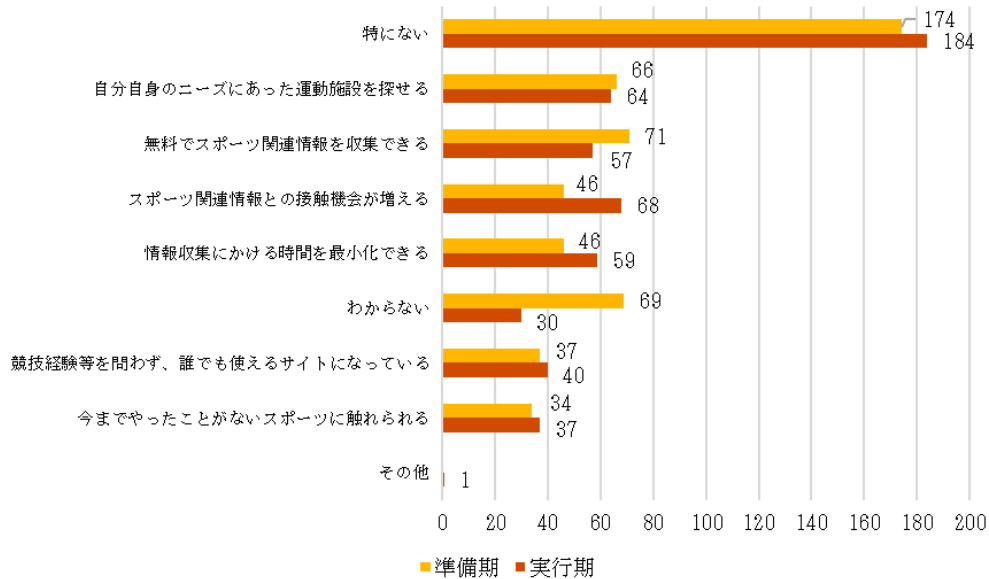


図. 「ココスポ」の利用によるスポーツ実施の阻害要因の最小化

○「ココスポ」の効果に対する評価

第2回調査時点で2ヵ月前より運動実施頻度が増えていると感じている介入群の回答者に対して「あなたは約2ヵ月前と比較し、運動・スポーツを実施する頻度が増加した理由として、ココスポをご利用いただいたことは影響がありましたか」の設問を提示したところ、半数以上の回答者が「影響はなかった」を選択した。

準備期、及び実行期準備期の回答結果を区別した場合、「影響があった」、もしくは「やや影響があった」を選択している準備期の回答者は3名（約12%）、実行期の回答者は25名（約35%）である。サンプル数が少ないことを留意する必要があるが、「ココスポ」によるスポーツ実施行動への影響は限定的でありながらも、影響度合いは準備期と実行期によって異なる可能性があることが伺える。本設問の回答結果を「ココスポの利用によるスポーツ実施の阻害要因の最小化」の回答結果と併せて検討した場合、準備期と実行期で具体的なニーズが異なる可能性が見受けられた。

第2回調査（単数回答）：介入群に割り当てられた準備期（ $n = 25$ ）及び実行期（ $n = 72$ ）

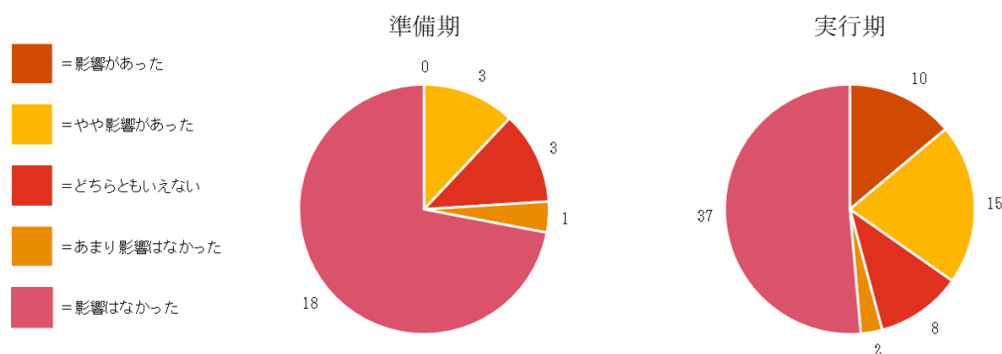


図. 「ココスポ」の利用による運動実施頻度への影響

○新型コロナウイルスの影響

全てのアンケート回答者に対して「新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言（2021年1月7日に発令）による影響について、当てはまるものを全てお知らせください」を提示したところ、半数以上の回答者が「特になし」を選択した。

第2回調査（複数回答）：全ての回答者（ $n = 1,639$ ）

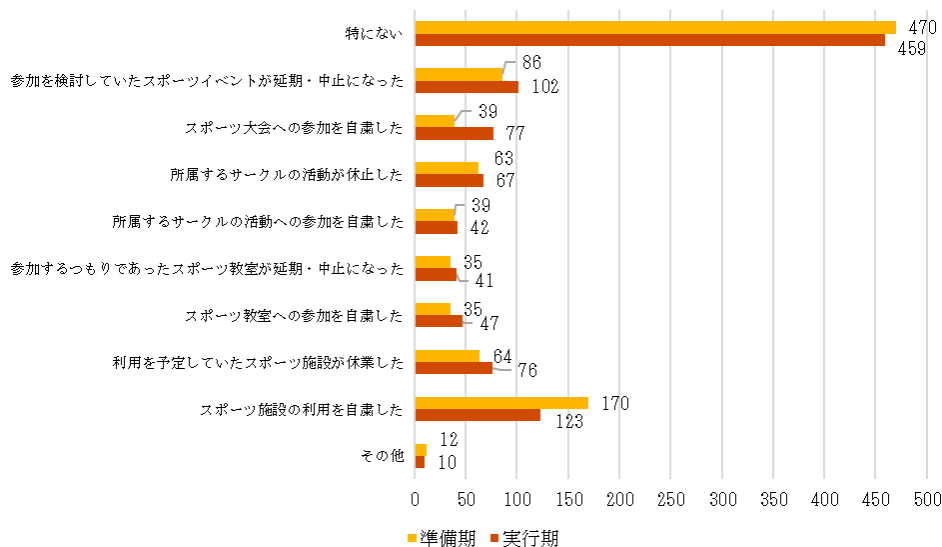


図. 緊急事態宣言の発令中におけるスポーツ実施の環境

一方で、一部の項目の回答傾向が準備期と実行期によって異なることも確認できる。例えば、「スポーツ施設の利用を自粛した」を選択した準備期の回答者の割合が実行期の割合より大きいことや、スポーツ大会に係る項目を選択した実行期の回答者の割合が準備期の割合より大きいこと等が伺える。⁸

8 準備期と実行期のグループにおける介入群と非介入群の差異を確認するために、カイ二乗検定で検証し

3.10 「ココスポ」の課題や収益性に関する調査研究

3.10.1 ヒアリング調査の実施概要

今年度の事業では、「ココスポ」が Web サイトの運営等を通じて収益を確保し、スポーツ庁事業の予算措置から独立した自走可能なモデルとして運営する方法を検討した。民間事業者等が運営している一般的な Web サイトは、下記の表にて示している「手数料収入モデル」、「会員収入モデル」、「スポンサー収入モデル」を活用していることが多いため、ヒアリング調査を通じて「ココスポ」における各種モデルの実現性や課題等について検討した。

収益モデルの分類		収益モデルの概要
手数料収入モデル	予約成果報酬型	Webサイトに掲載するイベント等において、予約が発生した際に、情報提供者から手数料を徴収する
	掲載型	Webサイトにイベント情報などを掲載する際に、情報提供者から手数料を徴収する
会員収入モデル	消費者	消費者から月会員費や年会費を徴収する
	情報提供者	店舗やイベント主催者等、情報提供者から月会員費や年会費を徴収する
スポンサー収入モデル	広告収入	Webサイトにバナー広告等を掲載し、広告主から掲載費を徴収する
	協賛	Webサイトの付加価値(閲覧数等の消費者との接点や社会的認知度等)に対する、一般企業等からの出資を収入源とする

図. Web サイトの収益モデル

ヒアリング調査の項目は、「ココスポ」の Web サイトとしての特性を踏まえた上で検討を進めた。例えば、民間事業者の Web サイトが「手数料収入モデル」と「会員収入モデル」の収益モデルを活用している事例は多く見受けられるが、当該モデルを「ココスポ」に導入することは慎重に検討する必要がある。「手数料収入モデル」と「会員収入モデル」の収益モデルの活用については、Web サイトとしての認知度が高く、収入源となる手数料や会員費を支払うためのアクセス数や会員登録数等を既に多く確保していることが前提となる。アクセス数等が少ない「ココスポ」は、会員費を支払う利用者数が不足しており、Web サイトを運営するための収益を確保困難であると想定される。

そのため、ヒアリング調査の対象団体として、Sport in Life 事業に加盟し、トピックス欄を掲載するためのアカウントを発行している団体や、広告枠を利用している団体を選定した。その上で、ヒアリング調査ではトピックス欄と広告枠を広告商品として取り扱うことに対する意見等を回収し、「スポンサー収入モデル」の検討を進めた。

たところ、5%の水準で有意ではないことを確認した。そのため、介入群と非介入群の回答結果を比較するにあたって、「新型コロナウイルスの影響」による影響は少ないことが推察される。

表. ヒアリング調査の実施概要

項目	概要
日程	令和3年2月1日から2月19日
実施方法	Web 会議
対象団体 (順不同)	<p><u>○民間事業者</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - ミズノ株式会社 - 株式会社 SSK エンタープライズ - サンウィン株式会社 <p><u>○競技団体</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - NPO 法人日本ソーシャルスポレク協会 - 一般社団法人山口県レクリエーション協会 <p><u>○地方公共団体</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 新潟県 県民生活・環境部 スポーツ課
ヒアリング項目	<p><u>○「ココスポ」の評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 当事業の取組みに関するご意見や期待される点 - 「ココスポ」をスポーツ庁が運営することに関する示唆 - 「ココスポ」の機能に対する意見 <p><u>○「ココスポ」への提案</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 「ココスポ」の改善方法、等 <p><u>○「ココスポ」の収益モデル</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 利用料金の支払いに対する意見 - スポンサーする際の目的や期待効果 - 「ココスポ」のスポンサーに対する意見 <p><u>○新型コロナウイルスとスポーツ実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 新型コロナウイルスによるスポーツ実施への影響に対する意見 - オンライン環境におけるスポーツ実施に対する意見

3.10.2 ヒアリング調査の結果

「ココスポ」に対する意見を各団体へヒアリングした結果、全国のスポーツ関連情報を集約していることや、スポーツ庁の Web サイトであること等が評価された。一方で、今年度の

事業の期間中に掲載された情報量の少なさや、掲載情報の地域の偏りが課題として挙げられた。また、スポーツ未実施者に対する有用性や、「こコスポ」と既存システムの二重管理による負荷等も課題として挙げられた。

掲載情報に関する課題は、「こコスポ」の収益モデルに対する意見と関連している。情報掲載数が拡充され、併せてユーザー数やアクセス数も一定水準を超えない限りは、会員費の支払いやスポンサーによる出資の可能性は低いとの見解が多い結果であった。一方で、「こコスポ」が保有しているデータに基づいた連携には前向きな意見もあり、データ連携に基づいた収益源の検討を進める余地があることが想定される。

また、新型コロナウイルスの影響によってオンライン活動の重要性が高まりつつも、スポーツ実施の推進のためには対面式のイベント等が欠かせない意見も受領している。

表. ヒアリング結果の概要

ヒアリング項目	概要
「こコスポ」の評価	<ul style="list-style-type: none"> - 全国のスポーツ関連情報を掲載していることは、情報発信の Web サイトとしての強みである。 - スポーツ庁が運営しているため、信頼性のある Web サイトである。また、将来的に「こコスポ」を民間事業者が運営した場合、スポーツ庁が連携していることや、情報掲載数が拡充されるのであれば、問題はない。 - 情報掲載数が少ないことや、掲載情報の地域の偏りが主な課題である。 - 予約システムを持っていない団体にとって、「こコスポ」の予約機能等は有用であると思われる。一方で、既にオンライン予約システムを構築している団体である場合、「こコスポ」との二重管理の負荷が課題になる。 - スポーツを定期的実施する情報閲覧者にとっては有用な Web サイトであるが、スポーツ未実施者に対する効果は未知数である。 - 自団体の情報を掲載している Web サイトが既に多く提供されており、それらの Web サイトとの差異が不明確である。
「こコスポ」への提案	<ul style="list-style-type: none"> - 「こコスポ」の情報発信の手段としての有用性を明確に示すことによって、より多くの情報登録者に Web サイトを利用いただける可能性がある。 - 掲載情報の拡充の施策として、他ウェブサイトと連携し、「こコスポ」に二次掲載することが考えられる。 - 地方における「こコスポ」の知名度を向上するために、地方公共団体と連携し、周知広報施策を拡充することが考えられる。

	<ul style="list-style-type: none"> - スポーツ関連情報と併せて、地方のツーリズム情報も掲載することによって、Web サイトとして付加価値が向上する可能性がある。 - SNS の拡散力を活用するために、「ココスポ」に SNS 機能を具備することが考えられる。 - 地域のスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと子供の運動実施を希望している保護者のマッチングサービスを「ココスポ」上で提供することによって、Web サイトとしての付加価値が向上する可能性がある。 - 成人のスポーツ実施率向上をするためには、「子供のスポーツ実施率向上」の観点を取り入れることが考えられる。
<p>「ココスポ」の 収益モデル</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 前提として、スポンサードの出資を判断するためには、掲載している情報の閲覧数等の情報が必要である。その上で、スポンサード活動に出資するためには、一定数のユーザー数やアクセス数を確保している必要がある。 - 「ココスポ」に広告を掲載することによって得られる具体的な効果のイメージができないため、具体的な議論ができない。 - スポンサーのための費用を通年で確保することよりも、単発のイベントを「ココスポ」上で短期間掲載する方法が実現性に長けている。 - 会員費や手数料が一定水準以上の料金体系である場合、団体によっては Web サイトの利用をやめる可能性がある。また、低価格で提供された場合であっても、情報掲載数の課題を解決することが利用の条件となる。 - 「ココスポ」に情報を登録する団体を最大限増やすためには、多くの機能を無償利用にすることが好ましい。 - 「ココスポ」が保有しているデータを各団体の事業に活用する余地はある（例：特定の利用者層への情報提供）。
<p>新型コロナウイルス とスポーツ実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 感染対策の一環として、オンライン環境における活動の重要性が高まっている。 - 一方で、オンライン環境におけるスポーツ実施に推進には限界があるため、対面式の活動との併存方法を検討する必要がある。

4 本事業の取り纏め

4.1 今年度における課題

本事業では「こコスポ」の機能を拡張した上で、スポーツの大会・イベントや総合型地域スポーツクラブ等のサークル情報等の開示や、さいたま市と横浜市を対象とした実証事業を展開した。事業の活動を通じて下記の課題を確認している。

○スポーツ関連団体における「こコスポ」の認知度

本事業では、スポーツ大会・イベントやサークル等の情報掲載機能を全国のスポーツ関連団体に対して周知したが、全国における「こコスポ」の認知度は依然として低い状況である。全国には多くの競技団体に加えて、多くの民間事業者がスポーツ事業を取り扱っているが、本事業の期間中に発行されたアカウント数は計 228 個に留まっている。原因として、スポーツ庁から各都道府県やスポーツ関連団体に展開された「こコスポ」に関する周知は、各都道府県やスポーツ関連団体の配下の団体に行き届いていない可能性も考えられる。

「こコスポ」がスポーツ関連情報を集約したポータルサイトとしての役割を果たすためには、「こコスポ」の存在を全国各地のスポーツ関連団体に浸透させ、スポーツ関連情報を掲載するスポーツ関連団体のアカウント登録件数を増やすことが肝要である。

○「こコスポ」における掲載情報数

新型コロナウイルスによるスポーツ実施への影響を考慮する必要があるが、本事業の期間中における掲載情報数は、昨年度の掲載数の半数を下回る結果となった。「コロナ禍」における情報掲載のコストが「こコスポ」の機能拡張等のメリットを上回ったことによって、掲載情報数が限定的になってしまったことが推察される。

なお、「こコスポ」に掲載されているスポーツ関連情報が少ないことによって、Web サイトを利用する情報閲覧者数の減少に繋がることが懸念される。情報閲覧者が求めている全国のスポーツ関連情報が「こコスポ」に掲載されていない場合、情報閲覧者が「こコスポ」を閲覧する意義を感じず、「こコスポ」の利用率は低下することが予想される。

Web アンケートでは介入群に対して「こコスポ」の満足度を調査しており、93 名の回答者（約 12%）が「こコスポ」の内容やコンテンツが「不十分だった」と感じている。「充実していた」と「やや充実していた」を選択している回答者の割合は全体の半数を超えているが、「やや充実していた」と「やや不十分だった」の回答を除外した場合、より多くの回答者が掲載情報に不満を覚えていることが見受けられる。

第2回調査（単数回答）：介入群に割り当てられた準備期及び実行期（ $n = 812$ ）

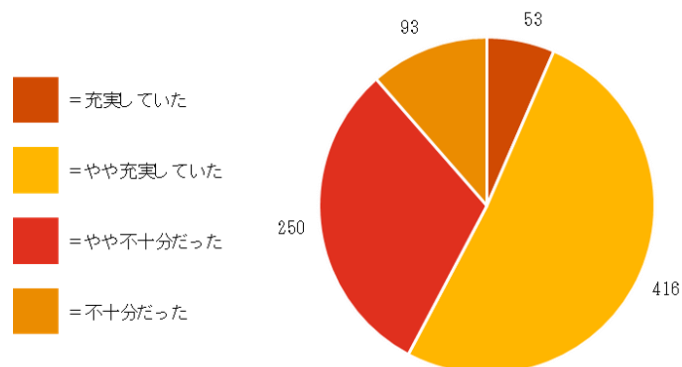


図. 「ココスポの内容・コンテンツをどのように感じましたか」に対する回答

加えて、「ココスポ」を利用する情報閲覧者数が減少することによって、「ココスポ」がユーザー数の少ないWebサイトであるとスポーツ関連団体が認識し、「ココスポ」へ情報を掲載する意義を感じず、情報掲載を取りやめるといった悪循環が発生する可能性もある。このように、掲載情報数の拡充は「ココスポ」の評価に直結にする課題であるため、直近の課題として取り組む必要がある。

○「ココスポ」における掲載情報の偏り

現在、「ココスポ」に掲載されている情報に地域の偏りが生じている。例えば、本事業において、計64件のスポーツ大会やスポーツイベントの情報が「ココスポ」に掲載されたものの、一部地域に情報が偏っている。

「ココスポ」を全国の情報閲覧者にとって利便性の高いWebサイトとして運用するためには、できるだけ多くの地域の情報を掲載する必要がある。そのため、情報掲載数だけでなく、地域的な観点での広がりも肝要となる。

○「ココスポ」の導入コスト

本事業では、実証地域となるさいたま市と横浜市に所在するスポーツ施設、及びスポーツ教室を対象に実証用アカウントを発行した。当該アカウントではスポーツ施設、及びスポーツ教室の情報掲載機能に加えて、予約機能と空き情報掲載機能を利用することが可能である。これらの機能を活用することによって、施設や教室と情報閲覧者をマッチングすることが期待されていたが、結果として予約機能の活用件数は3件に留まり、空き情報掲載機能は利用がなかった。

さいたま市や横浜市等といった大規模の地方公共団体ではオンライン予約システムが既に導入されているケースが多く、既存システムとココスポの重複管理に関する負荷が高いといった課題が顕在化する。実証事業では重複管理の作業負担を考慮し、「ココスポ」の利

用を見送る団体があった。

一方で、オンライン予約システムを導入していない団体であっても、「ここスポ」を新しく導入するコストがボトルネックとしても生じている。「ここスポ」の利用から発生する負荷を最小限とするため、スポーツ施設やスポーツ教室の情報掲載手順のマニュアルを作成したが、現行の運用フローを変更するほどのメリットを利用団体へ提供できなかったと考えられる。

○情報閲覧者における「ここスポ」の認知度

本事業では情報掲載者が利用する機能の拡張に加えて、情報閲覧者の観点に基づいた機能拡張を実施している。例えば、今年度から新しくトピックス欄の掲載や、「my ここスポ」アカウントの発行機能を具備している。一方で、ここスポの新機能を公開した2020年9月から2021年2月末までのログデータを整理した結果、ユーザー数は11,043名に留まる結果となった。昨年度と比較し、「平均セッション時間」や「ページ/セッション」の指標は改善していることから、「ここスポ」のユーザー体験の改善を実現しているが、「ここスポ」のWebサイトの認知度が低く、新規ユーザーの獲得に課題を残していると考えられる。

一方で、情報閲覧者における「ここスポ」の認知度を改善する場合、情報閲覧者の属性を考慮する必要がある。例えば、スポーツ庁は成人の運動実施頻度の向上の目的を念頭に「ここスポ」を構築しているが、ヒアリング調査でも言及されていたとおり、運動未実施者における「ここスポ」の認知度は未知数となっている。

Webサイトのアクセス解析ツールでは「ここスポ」にアクセスしている情報閲覧者の運動実施頻度は把握できないが、「my ここスポ」を登録している約75%以上のアカウント保持者が週1日以上以上の運動を実施していることを踏まえた場合、「ここスポ」の情報閲覧者の属性が「運動実施者」に偏っている可能性が伺える（データについては、「3.5 『my ここスポアカウント』の整備結果」を参照）。「ここスポ」が成人の運動実施頻度の向上に寄与するためには、運動未実施者における当該サイトの認知度を改善することも肝要であると思われる。

○情報閲覧者における「ここスポ」の利用意欲

情報閲覧者における「ここスポ」の認知度が向上した場合であっても、当該サイトを定期的に利用するインセンティブを設定する必要がある。仮に多くのアクセス数を確保した場合であっても、再訪率が低い場合は、一過性の事象となり、時間の経過とともに「ここスポ」が再度利用されない可能性がある。

Webアンケートでは介入群に対して「ここスポ」の継続的な利用意欲を調査しており、「ここスポを今後も使い続けたいと思いますか」の設問に対して、179名の回答者（約22%）が「思わない」を選択している。情報掲載数の拡充等を通じて、「ここスポ」へアクセスした情報掲載者の再訪率を高める施策を検討することが求められる。

第2回調査（単数回答）：介入群に割り当てられた準備期及び実行期（ $n = 812$ ）

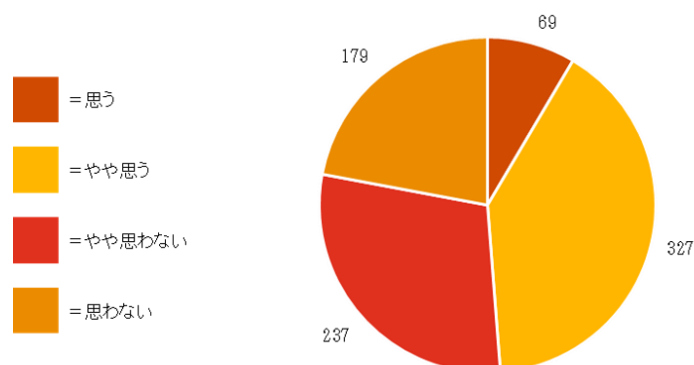


図. 「ココスポを今後も使い続けたいと思いますか」に対する回答

○持続可能な Web サイトとしての在り方

本事業では、「ココスポ」が独自の収益を確保し、自走可能なモデルとして Web サイトを運営するための検討事項を整理した。その一環としてヒアリング調査を実施しているが、複数のヒアリング対象の団体が「ココスポ」における情報掲載数の少なさや、Web サイトのアクセス数が未知数であることを指摘している。結果として、「ココスポ」が提供し得る付加価値も不明確となり、情報掲載にかかる手数料や広告の掲載料の支払いに難色を示していた。

「ココスポ」の情報掲載数を向上し、Web サイトの付加価値を高めることは必要であるが、Web サイトとしての継続性を確保するため、収益を生む「ココスポ」の活用方法を早期に検討することも重要となる。

4.2 課題に対する取組み

本事業の課題に対して、取り組むことが考えられる施策を下記にて示している。

○日常的に運動を実施しない方のココスポへの誘引

「ココスポ」がスポーツ実施率の向上へ寄与するためには、日常的に運動を実施しない方が「ココスポ」を閲覧する機会の検討が必要となる。検討結果については、早期に Web サイトの運営方法や掲載情報の内容等に反映する必要があると思われる。また、ヒアリング調査では、子供の頃の運動実施の習慣は、成人になった後でもそのまま身に付くことを指摘している団体がいたことを受け、子供が参加できるイベント情報等を「ココスポ」にて拡充する施策を導入することも考えられる。

○「ココスポ」の情報掲載数の拡充

「ココスポ」に掲載されているスポーツ関連情報量を向上させるため、実施すべき施策がいくつか考えられる。

1 点目は、各都道府県やスポーツ関連団体に対して「ココスポ」を周知する方法として、スポーツ関連情報を取り扱うスポーツ関連部署だけでなく、全庁的な取組みに拡大することを想定した方法を実施すべきことである。全庁的な取組み昇華させることにより、スポーツ関連部署が所管していない領域に「ココスポ」を周知でき、新たな領域における「ココスポ」の認知度の向上を図れる。また、当該サイトの利用方法の案内に加えて、「ココスポ」を利用するメリットをより効果的に周知するため、スポーツ関連団体を対象とした Web 説明会等を開催することも一案である。

2 点目は、スポーツ大会やスポーツイベントの情報掲載量を効率的に増加させる方法として、他のスポーツマッチングサイト等と連携し、他のサイトに掲載されている情報を「ココスポ」へ二次掲載する取り組みを進める施策を導入することである。運用実績があるスポーツ情報関連サイトには既に多くのスポーツ関連情報が掲載されているため、それらの情報を「ココスポ」に二次掲載することにより、短時間で情報掲載数を増加させることが可能となる。

表. スポーツマッチングサイトの一例

Web サイト名	掲載されている情報	スポーツ関連の掲載件数*
RUNET	ランニングに係る大会の情報、等	1,217 件
スポーツエントリー	スポーツイベントに関する情報、等	1,477 件
ウォーカープラス	全国のイベント情報、等	91 件

*各 Web サイトの 2021 年 3 月 16 日時点における掲載件数

なお、連携先となる Web サイトの閲覧数を減少させないために、他の Web サイトから「ここ

スポ」に二次掲載する情報はタイトルや開催日時等に限定し、詳細情報は掲載元となる Web サイトにて閲覧する利用導線を構築するといった点も重要な観点となる。この仕組みを採用した場合は、「ここスポ」はスポーツ関連情報の一次参照先としての役割を担うポータルサイトとして位置付けられる。

3点目は、さいたま市と横浜市に限定されているスポーツ施設とスポーツ教室の情報掲載機能を全国のスポーツ関連団体に拡大する施策である。スポーツ施設とスポーツ教室の施設情報を全国の団体が掲載できる仕様に変更することにより、「ここスポ」における情報掲載量は増加し、情報閲覧者における Web サイトの利便性の向上に繋がることが期待される。

○「ここスポ」の有用性の検討

ヒアリング調査を実施した結果、複数の団体が「ここスポ」を利用するメリットが不明確であることを指摘している。各団体が運用する Web サイトと比べて、「ここスポ」を利用するメリットを定量的に示す必要があると思われる。

これまでの事業で「ここスポ」の有用性を検証し、関連するデータを回収しているが、次年度以降も引き続き「ここスポ」を活用した実証事業を実施し、客観的なデータの回収を継続する必要がある。

○「ここスポ」の強みを生かした収益モデルの確立

Web サイトとしての継続性を確保するため、サイト運営に係る費用を担う収益源を早期に確保する必要がある。

現在、「ここスポ」を利用している情報閲覧者数は少数であるため、トピックス欄や広告の配信枠を活用した「スポンサー収入モデル」についても継続的に可能性を検証する必要がある。一方で、ヒアリング調査を実施した結果、トピックス欄や広告の配信枠のマーケティング効果を十分に遡及できている示唆を得られていない。そのため、「スポンサー収入モデル」の在り方については引き続き検討しつつ、1つの収益源に依存しない「ここスポ」の在り方についても検討すべきである。

ヒアリング調査では、オンラインイベントと現場で行われるオフラインイベントの併存方法が課題として挙げている複数の団体を確認していたため、その併存を補助するコンサルティングサービスに「ここスポ」を活用することが考えられる。「ここスポ」を利用したことによる利用料金ではなく、「ここスポ」をツールとして活用したコンサルティングサービスに対する対価を徴収するモデルの検討を進めることによって、「ここスポ」の収益源の多様化も進むことが期待される。

4.3 「ここスポ」のあるべき姿

「ここスポ」は全国のスポーツ関連情報を集約した Web サイトとして、成人の運動実施頻度の向上に貢献することが期待されている。本事業により、運動実施頻度の向上に貢献する役割を担うために必要である機能については、一定程度整備されたと考えられる。

また、現状で最も重要な観点として、「ここスポ」の情報掲載量を向上させる取り組みが必要である。現在の「ここスポ」は、スポーツ関連する情報を掲載する機能は備わっているが、情報閲覧者にとって必要十分な情報が掲載されていない状況である。このような課題を解決しなければ、「ここスポ」を利用している情報閲覧者数を増加させることはできず、継続的な Web サイトの運営も困難となる。前述したように他サイトとの情報連携等、早期に情報掲載数を増加させる取り組みが必要である。

「ここスポ」のテーマが「ここにくればスポーツが探せる、見つかる」であることを踏まえた場合、居住地域やスポーツ経験等が異なる情報閲覧者の幅広いニーズに応えられる Web サイトが「ここスポ」あるべき姿であると考えられる。次年度以降も情報登録者、及び情報閲覧者における「ここスポ」の利便性を検討し、Web サイトとしての充実度を改善することが求められる。